

京都府各郡農事試作場成績

緒言

本報掲クル所ノ成績ハ明治二十六年夏冬作及明治二十七年夏冬作ノ試験ニ係ル抑モ郡試作場ハ府農會中央試作場ニ於テ其好結果ヲ得タルモノニシテ其試験ノ郡ニ移スヘキモノハ一旦之ヲ郡試作場ニ試ミ以テ其郡内ニ於ケル行失關係ヲ詳ニセントスル所ナリ是ノ故ニ其試験方法ノ如キハ極メテ卑近適切ナルヲ旨トシ以テ漸次郡内ニ應用スヘキ模範ノ標準ヲ造ランコトヲ務メタリ今其大要ヲ記セハ左ノ如シ



- 一 肥料種類試験ヲ行ヒ以テ肥料經濟ノ關係ヲトスルコト
- 一 磷酸分添施試驗ヲ行ヒ以テ普通肥ニ對シ磷酸分ヲ補フノ必要アルヤ如何ヲ驗スルコト
- 一 加里分添施試驗ヲ行ヒ以テ加里分ヲ補フノ必要アルヤ否ヤヲ試ムルコト
- 一 種類試験ヲ行ヒ以テ各種ノ性質、得失、利害ヲ判ツコト
- 一 播種試驗ヲ行ヒ以テ其播種法カ普通法ニ對シ幾許ノ利益アルヤヲ定ムルコト

本年度ニ於テ執行シタル試験ノ方法概テ此ノ如シ而シテ其成績ノ示ス所ニヨレハ各郡大ニ趣キテ異ニシ利害ノ關係ヲ同フセサルモノアリト雖トモ亦大ニ從來ノ弊害ヲ矯正シ營業者ノ頼テ以テ規範トナスニ足ルヘキモノ多シ例ヘハ同一肥料代金ヲ投スルモ其施スヘキ肥料種類ヲ選擇セハ爲メニ其收益ヲ増加スル一二割ノ多キニ居ルヲ示スモノアリ作物種類ヲ選擇セハ亦タ爲メニ一割餘ノ増益ヲ收メテ証スルモノアリ若シ夫レ耕耘ノ方法、播種手入

ノ方法、肥培ノ術、病蟲害驅除ノ方法、收穫ノ方法等ニ於テ各々之ノ改良法ヲ講究スル所アラハ其當業者ナリ
 スル果シテ幾許ナルヲ知ルヘカラス而シテ此等方法ニ對シテハ逐年順次施行スル所アラントス然リト雖トモ農事
 試験ナルモノハ氣候、風土、地性ノ關係ニヨリ常ニ其成績ヲ左右セラル、モノナルカ故ニ徒ラニ單一ノ事績ヲ舉
 ケテ永年ノ事ヲトスヘキニアラス唯々連年續行以テ彼此ノ得失ヲ斷定スヘキノ當業者夫レ本報示ス所ノ成績ヲ
 前年度ノ成績ト對照シ潛思熟考以テ玩味スル所アラハ其自得スルモノ蓋シ鮮少ナラサルヘキ歟

明治廿八年三月

京 都 府

愛宕郡試作場

試作擔當人 下 鴨 村 志波 長左衛門

稻 作 試 驗

本試験ハ前年度稻作肥料ヲ繼續シタルモノニシテ其主旨トセル所左ノ如シ
 肥料試験第一區ハ該地方ニ於ケル普通肥ヲ普通量ニ施用シ以テ他區ニ於ケル効驗比較ナク之ニ取リタルモノナリ第
 二區ハ第一區ニ於ケル人糞及油粕ノ數量ヲ半減シ之ニ代ユルニ紫雲英及藎灰ヲ用ヒテ經濟上ニ於ケル價值比較ヲ
 試ミタルモノナリ第三區ヨリ第六區迄ハ油粕ニ代フルニ米糠、餅粕、燒酎粕ヲ施給シテ以テ其利害得失ヲ試ミタルモ
 ノナリ第七區ヨリ第九區迄ハ從來施用セル肥料ニ更ニ過燐酸石灰骨粉重過燐酸石灰ヲ施シ以テ其燐酸成分カ如何
 ナル効驗ヲ呈スルヤヲ試ミノト欲スルニアリ而シテ試験上ノ誤差ヲ成ルヘク避ケンカタマ一區ヲ甲乙ニ二分シ同

一手續キテ施シ以テ試験ノ精確ナランコトヲ期シタリ

稻作肥料試験成績表

第一表

區名	項目	第一區		第二區		第三區		第四區		第五區	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
甲十五坪	作付	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
白千本	種名	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一、五畝	畝數	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
水撒	種播種期	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
五月	發芽期	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四月	移植期	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
五月廿七日	一株本數	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六〇	收穫期	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十一月十八日	人糞	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	油粕	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	紫雲英	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	藎灰	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	米糠	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	餅粕	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	燒酎粕	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	灰	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	尿	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	同上價格	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	米收穫量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	收穫量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	重	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	初一升	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

項目	第三區		第四區		第五區		第六區		第七區		第八區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
作付反歩	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全上價格	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	六、三六〇	六、三六〇	六、三六〇	六、三六〇
支米收量	三、〇二〇	二、九四〇	二、九六〇	二、八六〇	三、一四〇	三、一四〇	三、一六〇	三、一八〇	三、一四〇	三、一四〇	三、一六〇	二、八四〇
糶收量	五、八〇〇	五、五二〇	五、六六〇	五、二六〇	五、四二〇	五、四二〇	五、四六〇	五、四六〇	五、四六〇	五、四六〇	五、六四〇	五、二六〇
糶	一五二、二〇〇	一五三、六〇〇	一五二、四〇〇	一五六、四〇〇	一五二、四〇〇	一五二、四〇〇	一五〇、四〇〇	一五〇、四〇〇	一五二、六〇〇	一五二、六〇〇	一五八、二〇〇	一四九、二〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

(五)

項目	第一區		第二區		第三區		第四區		第五區		第六區		第七區		第八區		第九區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
備名	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
作付反歩	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全上價格	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇	五、一〇〇
支米收量	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四	三、一四二	三、〇〇四
糶收量	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇	五、六六〇	五、三六〇
糶	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇	一五二、二〇〇	一四七、八〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

(四)

一發生中氣象及病蟲害 本年ハ前條ニ記載スル如ク三十年來ノ旱魃ニシテ移植期ノ頃ヨリ水源枯水シ養水欠乏ノ爲メ平素ヨリ移植期ノ晩ル、コト殆ント二週日爾來常ニ田面ニ溜水スルコトナク近村山際ノ地ハ時々雷雨アリタルモ本村ノ如キ不幸ニシテ充分ノ降雨モナク爲ニ近隣一等田ニシテ收穫皆無ノ場所ヲ見ルニ至ル然レトモ本試驗田ハ大ニ注意ヲ加ヘ僅少ノ養水ヲ以テ必要ノ時ヲ過ラズ灌水ヲ爲シツ、アルカ故ニ平年ニ比シ八分ノ收穫ヨリ見ルヲ得サルモ當地此年ニシテ此結果ヲ見シハ全ク灌水其時ヲ過クサルノ注意如何ニシテ近隣田ノ如ク枯死スルコトヲ免レタリト雖トモ十分ノ結果ヲ見ルニ至ラサルハ頗フル遺憾トスル所ナリ但シ病、蟲ノ被害ナシ

一收穫法 每區ニ刈取り普通調製ノ法ヲ行ヒ其收量ヲ檢セリ
 一品質及價格 品質ハ旱害ノ爲メ少數黒色ヲ帯ヒ價格モ亦隨テ普通米ヲ超ユル能ハザリシ

全郡 (畑地)

甘藷作試驗

本試驗ハ甘藷作上肥料種類ヲ異ニスルニ由テ來ス所ノ關係ヲ明カニシ以テ孰シカ經濟上有効ナリヤヲ試モント欲スルニアリ而シテ其各種施肥量代價一反步九圓五拾錢ノ割合ニ當リ

甘藷作肥料試驗成績表

區別	項目	名稱	作付步數	植付期	施肥量	全上價格	收穫期	收穫量	上層	中層	合計	收穫	上層	中層	合計	金		
第一區	美濃山	二反步	五十八日	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000
第二區	全	全	全	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000
第三區	全	全	全	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000	2000

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左表ノ如シ

區別	項目	名稱	作付步數	施肥量	全上價格	收穫期	收穫量	上層	中層	合計	收穫	上層	中層	合計	金		
第一區	美濃山	一反步	全	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000
第二區	全	全	全	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000
第三區	全	全	全	雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000		
				油粕	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000
				雜草	1000.000	1.000	八月	1000	1000	1000	1000	1000	3000	1000	1000	2000	2000

以上ノ成績ヲ見ルニ第二區ノ米糶ヲ施用シタルモノハ收穫多量ナルノミナラス品質亦良好ニシテ屑粟少ナリ次ハ第三區ノ人糞區ニシテ其收量油粕區ノ上位ニアリ然レトモ人糞ノ多量ヲ施シタル場合ニ於テ若シ雨濕ノ氣候ニ遭遇セハ往々稔熟ノ徒長トナリ小莖ノミヲ生シテ意外ニ其收量ヲ減スルハ從來ノ成績結果ニ微シテ明カナリトス蓋シ本年ノ如キ旱年ニシテ初テ人糞ノ劇効アルヲ知ル可シト雖トモ是ヲ以テ直チニ人糞ハ甘藷作ニ有効ナリト斷定ス可カラス案スルニ米糶及油粕ノ如キハ先ツ如何ナル土地如何ナル氣候ニ際シテモ甚ダ違作ナキモノト知ル可シ備考

一 地形及土質 當試作場ハ四方平坦ニシテ日當リ能キ乾燥地ナリ而シテ土質ハ砂質ニシテ小石交リトス
 一 施肥法 表中肥料額ノ六分ヲ原肥トシ餘ノ四分ヲ七月月中旬補肥トシテ施用シタリ
 一 本試驗場ハ甘藷ヲ試作スルコト初年ナルヲ以テ十分結果ヲ見ル能ハサルコトヲ遺憾ナリトス

葛野郡試作場

試作擔當人 西院村 西村貞次郎

本試驗ヲ別ツテ肥料試驗及種類試驗ノ二トス肥料試驗第一區ハ該地方ニ於ケル普通肥ヲ普通量ニ施給シ以テ他區ニ於ケル肥料効驗ノ標準ヲ之ニ取リタルモノナリ第二區ハ第一ノ普通區ニ相當スル代價ヲ以テ人糞ヲ單施シタルモノナリ第三區ヨリ第五區迄ハ第一區ニ施給セル人尿ノ數量ヲ減シ其減量ニ相當スル代價ヲ以テ油粕米糠雜糞ヲ施用シ以テ經濟上ニ於ケル價值効力ヲ試ミタルモノナリ
 又第六區ヨリ第八區迄ハ第一區ノ普通肥ニ骨粉、葉灰、重過磷酸石灰ヲ添加シ以テ磷酸質加里質ヲ添加スルノ必要アリヤ否ヤヲ試ミタルモノナリ其成績左ノ如シ

稻作肥料試驗成績表

第一表

區名	項目	作付	種名	量	播種期	移植期	坪本數	收穫期	施肥	量	全上價格	米收量	初收量	雜量	初一升
第一區	一畝	全	八、〇	水糞	廿九日	六月十七日	一九	八月十日	人糞	二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	人糞	二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	雜量
第一區	區氣量好	人糞	人	100,000	三、五〇〇	三、三三〇	六、七二五	五、二五〇
第二區	全	人糞	人	100,000	三、五〇〇	三、一三五	六、三六〇	五、一七〇
第三區	全	油人糞	人	100,000	二、八五〇	二、八五〇	五、四六〇	四、四一〇
第四區	全	米人糞	人	100,000	二、八三〇	二、八三〇	五、四六三	四、三三〇
第五區	全	雞人糞	人	100,000	二、八三三	二、八三三	五、七八〇	四、七六〇
第六區	全	骨人糞	人	100,000	四、三三〇	四、三三〇	五、六六〇	四、三三〇
第七區	全	葉灰	人	100,000	四、三三〇	四、三三〇	五、六六〇	四、三三〇
第八區	全	石灰	人	100,000	四、三三〇	四、三三〇	五、六六〇	四、三三〇

莖稈ノ強弱成熟ノ早晚品質ノ良否及風雨旱損ノ關係ヲ調査セサル可カラス當業者ハ此等ニ就テ特ニ注意スルヲ要ス

乙訓郡試作場

試作擔當人 向日町 清水 甚右衛門

本年度ニ施行セル肥料試驗ハ前年度試驗ヲ繼續シタルモノニシテ其主旨トセル所左ノ如シ

- 一、第一區ハ人糞尿油粕ヲ普通量ニ施シ以テ試驗ノ比較ナク之ニ取リタルモノナリ
- 一、第二區ハ第一區ノ油粕ニ代フルニ全代價ノ米糶ヲ以テセハ其得失如何
- 一、第三區ハ第一區ノ油粕ニ代フルニ全代價ノ鮮粕ヲ以テセハ如何
- 一、第四區ハ第三區ノ施肥量ニ更ニ葉灰ヲ添加スルノ必要アリヤ
- 一、第五區ハ第一區ノ普通肥ニ更ニ葉灰ヲ添加セハ如何
- 一、第六區ハ第一區ノ普通肥ニ更ニ過燐酸石灰ヲ添加セハ如何
- 一、第七區ハ第一區ノ普通肥ニ更ニ骨粉ヲ添施セハ如何
- 一、第八區ハ第一區ノ普通肥ニ更ニ重過燐酸石灰ヲ補添スレハ如何
- 一、第九區ハ第一區ノ人糞尿ニ代フルニ紫雲英ヲ以テセハ如何
- 一、第十區ハ紫雲英ニ葉灰ヲ併施セハ其効力如何

稻作肥料試驗成績表 第一表

區名	項目	作付	肥料	量	播種期	發芽期	移植期	一坪收穫	一坪收穫	收穫期	施肥	量	全上價格	米收量	初收量	收穫量	重量	初一升
第一區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第七區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第八區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第九區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第十區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	收穫量	重量
第一區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第七區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第八區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第九區	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第十區	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第一區	肥後坊主	100,000	4,100	2,524.5	4,592.5	155,000
第二區	全	100,000	4,100	2,999.0	5,143.0	160,000
第三區	全	100,000	4,100	2,597.0	4,942.0	148,000
第四區	全	100,000	5,360	2,643.0	5,010.0	149,000
第五區	全	100,000	5,360	2,644.0	4,990.0	152,000
第六區	全	100,000	5,360	2,618.0	4,983.0	150,000
第七區	全	100,000	5,360	2,266.0	4,280.0	140,000
第八區	全	100,000	5,360	2,415.0	4,381.0	140,000
第九區	全	100,000	1,700	2,999.0	5,467.0	168,000
第十區	全	100,000	2,000	3,051.0	5,482.0	168,000

以上成績ニ就テ見ルトキハ第二區ノ米糠ハ頗ル安價ノ肥料トシテ其收量ハ普通區ニ比シ一反歩實ニ三斗八升六合ノ增收ヲ見ル之ヲ前年ノ試作成績ニ對照スルモ其結果能ク全一ニ出テタリ以テ米糠ノ經濟上得策肥料タルコトヲ確ムルニ足ル

第四區第五區ノ藁灰ヲ添加シタルモノハ幾分收量ノ増加ヲ見ルト雖トモ特ニ之ヲ施用スルノ必要ナキコト殆ント

前年試作成績ト全一轍ニ出テタリ然レトモ藁灰ハ其配合ス可キ肥料組織ノ異ナル場合ニ於テ亦甚タ有用ナルヲ知ル可シ乃チ第十區ノ紫雲英ト併施シタルモノニアリテハ其收量ノ甚タ増加セルヲ認ムレハナリ

第六區ノ過燐酸石灰ヲ添加シタルモノハ幾分收量ノ増加ヲ見ルト雖トモ骨粉區(第七區)重過燐酸石灰區(第八區)ニ於テハ其收量ヲ却テ減少スルヲ見ル是レ頗ル怪マ可キノ點ニシテ或ハ土質ノ狀態氣候如何ニ由リ効驗ノ多少アルハ試作上免レサル所ナリト雖トモ是レカ爲メ有害作用ヲ現ハスカ如キハ毫モ其性ニ非ラサレハナリ是等ハ尙再應ノ試驗ヲ施行シ以テ其原因ノ在ル所ヲ確ムルヲ要ス

第九區第十區ノ紫雲英ヲ施給シタルモノニアリテハ其効驗實ニ著ク殊ニ藁灰ヲ併施シタル區ニアリテハ其收量ノ特ニ増加セルヲ見ル

以上ノ結果ニ由リ察スルトキハ本試驗田ハ燐酸加里ノ二成分ハ特ニ之ヲ添加スルノ必要ヲ認メスト雖トモ窒素質肥料ノ殊ニ切要ナルヲ知ルニ足ル

全郡

試作擔當人 新神足村 大喜多 甚右衛門

本試驗ハ伏見糯黑糯ノ二種及神力、信州金子、高砂、肥後坊主、萬作坊主、晚源殿ノ六種ニ就テ其成熟ノ早晚、莖稈ノ強弱品質ノ良否收穫ノ多寡如何ヲ試ミタルモノナリ而シテ其成績左ノ如シ

稻作肥料試驗成績表

第一表

項目	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區
作付	一畝	一畝	一畝	一畝	一畝	一畝	一畝	一畝
種名	伏見糯	黒糖糯	神力全	信州三〇全	高砂全	肥後全	萬作全	曉源全
量	二〇	全	全	全	全	全	全	全
播種期	四月	全	全	全	全	全	全	全
移植期	六月十七日	全	全	全	全	全	全	全
坪株數	五五	全	全	全	全	全	全	全
收穫期	九月廿九日	全	全	全	全	全	全	全
施肥	草油入糞尿 木灰	全	全	全	全	全	全	全
量	10000 10000	全	全	全	全	全	全	全
全上價格	15000	全	全	全	全	全	全	全
米收穫量	15000	全	全	全	全	全	全	全
籾收穫量	15000	全	全	全	全	全	全	全
量	15000	全	全	全	全	全	全	全
初一	15000	全	全	全	全	全	全	全
升	15000	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

項目	第一區	第二區
種名	伏見糯	黒糖糯
作付	一反歩	全
一反歩當施肥量	草油入糞尿 木灰 10000 10000	全
全上價格	3500	全
米收穫量	2350	2200
籾收穫量	4750	4420
量	156000	154000

右成績ヲ觀ルニ收穫ノ最モ多量ナルハ神力晚源職ニシテ萬作坊主之ニ次ケリ成熟ノ最モ早キハ信州金子高砂ニシテ晚源職肥後坊主萬作坊主亦之ニ次キ神力ノ成熟最モ遅シ又肥後、萬作、金子等ハ品質概シテ良好ナリシ要スルニ本年ハ旱魃ノタメ灌溉水ニ欠乏ヲ來シ其收穫ニ影響セルコト少カラス故ニ再應ノ試驗ヲ待ツテ其適否優劣ヲ別タント欲ス

紀伊郡試作場

試作擔當人 下鳥羽村 竹中半兵衛

本試驗ヲ分テ肥料試驗種類試驗ノ二種トス

肥料試驗ノ主旨左ノ如シ

一、第一區ハ在來ヨリ施用シ來ル普通肥料ヲ給與シ以テ他區ニ於ケル肥料ノ効驗如何ヲ比較セント欲スルニ

以上成績ノ示ス所ニ由レハ油粕ヲ施用シタル第二區ニアリテハ普通肥ノ第一區ニ對シ一反歩實ニ二斗二升五合ノ増收穞アリ次ニ餅粕區ニシテ大豆粕區亦之ニ亞ケリ第一區ノ人糞尿ヲ單施シタルモノニアリテハ其收量ノ甚々劣少ナルノミナラス莖幹稍々軟弱ニ失スルノ觀アリ

區名	第一區		第二區		第三區		第四區		第五區		第六區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
種名	油粕	餅粕	油粕	餅粕	油粕	餅粕	油粕	餅粕	油粕	餅粕	油粕	餅粕
作付反別	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全上價格	二、八八〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇	三、一三〇
支米收量	五、八〇〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇
級收量	五、八〇〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇
穀	五、八〇〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇
量	五、八〇〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇	五、七九〇

第五第六ノ骨粉區重過磷酸石灰區ニアリテハ其ニ全收量ニシテ磷酸肥料ヲ添加セル區ニ對シ一反歩實ニ一斗六升五合ノ減收トナレリ是レ頗ル疑フ可キノ點ナリトス蓋シ磷酸質肥料ハ土壤ノ性質及狀態如何ニ由リ特ニ添施スル必要ヲ認メサルハ府下試作場ニ於テ往々實驗スル所ナリト雖トモ之レカ爲メ有害作用ヲ呈スルカ如キハ理ニ於テアル可カラサルコトナレハナリ此等ニ宜シク再應ノ試驗ヲ試ミ以テ其原因ノ歸スル所ヲ確メシコトヲ要ス

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	第一區		第二區		第三區		第四區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
種名	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造
作付反別	全	全	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	全	全	全	全	全	全	全	全
全上價格	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇
支米收量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
級收量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
穀	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	第一區		第二區		第三區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙
種名	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造	晚源造
作付反別	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	全	全	全	全	全	全
全上價格	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇
支米收量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
級收量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
穀	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇
量	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇

種類試験ニ於テハ第一區ヨリ第六區ニ至ル六種ノ試験ヲ行ヒ以テ其適否優劣ヲ判タント欲スルニアリ今其成績ノ示ス所ニ由レハ收量ノ最多ナルハ神力ニシテ万作坊主之ニ次キ猪戸、晚源藏亦之ニ次キ關取氣量好共ニ劣レリ然レトモ此等ハ單ニ收量ノ多寡ヲ以テ其優劣ヲ別ツ可カラス必スヤ品質ノ良否成熟ノ早晚等ヲ調査シ以テ利害得失ヲ究メサル可カラス此等ハ當業者ノ特ニ注意ス可キ點ナリトス

稻作種類試験成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	初收量	量	量	量
第一區	二畝步	神力	ての	全	五月三日	六月十日	五月十七日	三六十一	八月	全	100,000	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
第二區	全	猪月全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	一畝步	晚源藏	五〇	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	萬作坊主	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區	全	關取	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區	全	器量好	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	量	量
第一區	二畝步	神力	一〇〇	110,000	五、一〇〇	三、二五〇	六、五〇〇		

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	量	量
第二區	猪	猪月全	全	全	全	二、九五〇	五、九〇〇		
第三區	晚源藏	全	全	全	全	二、六二〇	五、二〇〇		
第四區	萬作坊主	全	全	全	全	三、〇〇〇	六、〇〇〇		
第五區	關取	全	全	全	全	二、〇〇〇	四、〇〇〇		
第六區	器量好	全	全	全	全	二、三〇〇	四、六〇〇		

久世郡試作場

試驗擔當人 富野莊村 小森 喜平

本試験ヲ別テ肥料試験及種類試験ノ二トス肥料試験第一區ハ該地方ノ普通肥ヲ施給シ比較ノ基礎トナセリ第二區ハ第一區ノ油粕ニ代フルニ米糠ヲ以テシ其得失ヲ試ミタルモノナリ第三區ハ第一區ノ油粕幾分ヲ減シ藁灰ヲ代用シテ其効驗如何ヲ試ミント欲スルニアリ第四區ヨリ第六區迄ハ過燐酸石灰、骨粉、重過燐酸石灰ノ各種ヲ全代價ヲ以テ添施シ燐酸質ノ効力如何ヲ試ミントスルニアリ

稻作肥料試験成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	初收量	量	量	量
第一區	一畝步	神力	全	全	四月十九日	六月十四日	五月十六日	三六十一	八月十五日	油粕	100,000	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	糞量
第四區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一段歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	糞量
第一區全	神	力	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第二區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區全	全	全	全	全	全	全	全	全

以上ノ成績ヲ見ルニ第三區ノ油粕ニ藨灰ヲ補添シタルモノニアリテハ第一區ノ油粕ヲ單施シタルモノニ比シ其收量ノ著ク減少セルヲ見ル之ヲ前年度試驗成績ニ徴スルニ全ク反對ノ結果トナレリ
又第六區ノ重過燐酸石灰ヲ添加シタルモノニアリテハ其効驗ノ顯著ナルヲ示スト雖トモ過燐酸石灰區及骨粉區ハ共ニ其成績ノ良好ナラサルヲ示シ以テ前年度試驗成績ニ徴スルモ殆ント反對ノ結果トナレリ要之肥料効驗ハ氣候

土質及施肥ノ時期如何ニ由リ大ニ多少遲速アルモノナンハ尙ホ此試驗ヲ繼續シテ以テ其成績ノ確實ナランコトヲ期ス可シ

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	項目	作付反別	種名	最獲種播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	糞量	糞一升
第七區全	一畝步	關取	晚源藏	四月十九日	六月十四日	三、六、十一、廿一	四、廿一日	油粕	一、六〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇
第八區全	全	全	神成	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
第九區全	全	全	神成	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	

右試作結果ヲ一段歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	糞量
第七區全	關取	取	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第八區全	晚源藏	藏	全	全	全	全	全	全
第九區全	神成	成	全	全	全	全	全	全

以上ノ結果ニ由レハ源藏ハ其收量ノ多キヲ占メ神成關取之ニ次ケリ然レトモ其成熟ノ早キト品質ノ良好ナルハ關取源藏ニシテ神成ハ品質ノ稍々劣等ナルト成熟ノ遲キ違ク關取ニ及フコト能ハス

備考

一 試驗場 久世郡富野莊村大字富野小字野路地五十番ノ水田高燥ニシテ砂質土ナリ
 一 種子 鹽水攪ヲ以テ十日間浸水シ二三日光ニ曝ラシ稍々發芽ノ徵アルモノヲ苗代地ニ蒔キ付タリ
 一 苗代地 ハ四月上旬ニ深サ一尺許耕鋤シ油粕人糞藁灰等ヲ混シタルモノヲ坪一荷ノ割合ニ施肥シ爾後日光ニ
 曝ラシ二三回搔キ均ラシ而シテ全月十九日一坪ニ付八合ノ割ヲ以テ播種ス
 一 耕耘 冬作物麥ヲ刈取リ深サ一尺許耕鋤シ肥料ヲ每區ニ施シ又鋤ヲ以テ能ク耕シ爾後二日間經過シ六月十四
 日播秧サナス
 一 手入 播秧後六月廿四日第一番ノ草取ヲナシ爾後十日間毎ニ必ス草取ヲナス八月中旬ニ至リ第六回ノ草取ニ
 ラ終リ其後排水シ當夏ノ旱天ニテ能ク水田モ乾燥セリ試作中各區病蟲害ノ患ナシ
 一 品質 各區大差ナク重過磷酸石灰施肥ノ區米重量尤モ重ク平年ニ比シテ最モ良シ

全郡

試作擔當人 宇治町 辻 利 助

甘藷試驗成績表

第一表

區名	項目	名目	種名	作付歩數	植付期	施肥量	全上價格	收穫期	收穫量	上層	中層	合計	收穫	上層	中層	合計
第一區全	赤二畝步	五月二十七日	人糞	三畝	四月	五十一日	一三三	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五

區名	項目	種名	作付歩數	植付期	施肥量	全上價格	收穫期	收穫量	上層	中層	合計	收穫	上層	中層	合計
第二區全	一畝步	五月二十八日	人糞	一畝	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第三區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第四區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第五區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第六區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第七區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左表ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付歩數	植付期	施肥量	全上價格	收穫期	收穫量	上層	中層	合計	收穫	上層	中層	合計
第一區全	赤一反步	五月二十八日	人糞	一畝	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第二區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第三區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第四區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
第五區全	全	五月二十八日	人糞	全	五月	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六

第六區全	全	人糞	10,000	5,000	5,000	33,000				
第七區全	全	人糞	10,000	5,000	5,000	45,000				

以上ノ成績ニ由レハ收穫最モ多量ナリシハ第三ノ米糠區ニシテ油粕區之ニ次キ過磷酸石灰及骨粉ヲ支給シタル區ハ甚シキ減收ニ屬セリ元ト該地ハ土質堅硬ニシテ乾結スルノ性アルカ故ニ堆肥柴草ノ類ヲ幾分添施シテ土質ヲ膨軟輕鬆ナラシムルコト特ニ必要ナルカ如シ又第六區及第七區ハ船底植ト普通植トノ得失ヲ比較シタルモノナリト雖トモ肥料ノ種類ヲ異ニセルヲ以テ直ニ之レカ判斷テ下スコト能ハス

綴喜郡試作場

試作擔當人 田邊村 田邊 藤右衛門

本試驗ヲ別テ肥料試驗及種類試驗トス肥料試驗第一區ヨリ第四區迄ハ肥料ノ種類ヲ異ニシ以テ經濟上ニ於ケル得失ヲ試ミタルモノナリ其量各種共一反步七圓六拾七錢ノ割合ヲ以テ支給シタルモノナリ但シ第二區ハ該地方ニ於ケル在來ノ普通肥ヲ普通量ニ施シ以テ他ノ比較標準ト爲セリ
第五區ヨリ第七區迄ハ第二區ノ普通肥ニ更ニ骨粉過磷酸石灰重過磷酸石灰ヲ各別ニ添加シ以テ磷酸成分ノ効力如何ヲ試ミタルモノナリ

稻作肥料試驗成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	種量	播種期	發芽期	移植期	一株本數	收穫期	施肥	施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糞量	初一量
----	----	----	----	----	-----	-----	-----	------	-----	----	-----	------	------	-----	----	-----

第一區	一畝步	神力	二〇	攪水	廿四	廿一日	十六	四	十一月	紫雲英	30,000	3,500	3,500	7,100	215,000	3,500
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000
第七區	全	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000	3,000

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	種量	播種期	發芽期	移植期	一株本數	收穫期	施肥	施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糞量
第一區	一畝步	神力	二〇	攪水	廿四	廿一日	四	十一月	紫雲英	30,000	3,500	3,500	7,100	215,000
第二區	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000
第三區	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000
第四區	全	全	全	全	全	全	全	十一月	油粕	10,000	3,000	3,000	6,600	208,000

一試作中ノ氣候 試作中本年ノ氣候ハ實ニ好順ニシテ申分無シ從テ稻ノ生育活潑ニシテ數十年來稀ナル豐作ナリシ

一收穫物ノ品質及價格 肥料試驗區第七第六第五ハ品質佳良且ツ重量モ優レリ第四第二之ニ次シ第三第一稍々劣レリ種類試驗區小白玉品質佳良次ハ晚源藏大岡ナリ關取ハ種類早中晚混合セルヲ以テ實際ノ品質并ニ收穫ヲ見ル能ハス實ニ遺憾トス大岡ハ籾皮厚ク品質稍々劣ントモ收量ニ於テ第一位ヲ占ム且ツ世人ニ種子ヲ分配セシニ頗ル好評ナリ

價格八圓餘

撰種法浸水苗代播種法移植法施肥法耕地法手入法收穫ノ各法ハ前年全様ナリ

全郡

棉作試驗

試作擔當人 都々城村 山村松之助

本試驗ハ棉作上肥料組織ノ異ナルニ因テ發生ノ工合、成熟ノ早晚、及收量ニ及ホス關係ヲ明カニシ以テ孰レノ肥料カ尤モ適當セルカヲ試ミノト欲スルニアリ

綿作試驗成績表

區名	項目	作付歩數	種名	種量	播種	播種期	發芽期	收穫期	施肥	量	全上價格	實綿收量	繰綿收量
----	----	------	----	----	----	-----	-----	-----	----	---	------	------	------

第一區	二畝歩	青土佐	二〇〇	一粒播	五月廿一日	自八月廿八日	至十月十日	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第四區	一畝歩	全	一〇〇	全	全	全	全	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第六區	全	赤木川崎	全	全	全	全	全	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇
第七區	全	陸地綿 アツブランド	全	全	全	自九月五日	至十一月十日	全	人	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇	九、六〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

區名	項目	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	實綿收量	繰綿收量
第一區	青土佐	全	一、〇〇〇	四、八〇〇	四、一五〇	四、七、五〇〇	
第二區	全	全	全	四、八〇〇	四、一五〇	四、七、五〇〇	
第三區	全	全	全	四、八〇〇	四、一五〇	四、七、五〇〇	
第四區	全	全	全	四、八〇〇	四、一五〇	四、七、五〇〇	

以上成績ノ示ス所ニ由レハ收量ノ最多ナルハ神力ニシテ肥後坊主之ニ次キ源藏亦之ニ次キ福山最モ劣リ然レトモ粒實豐大品質善良ナルハ肥後坊主ニシテ普通一石ノ賣價ヨリ殆ント五割以上ノ高價ヲ保テリ次ハ源藏ニシテ神力福山ハ其ニ劣リ又收穫期ノ最モ早キハ肥後坊主源藏ニシテ神力之ニ次キ福山最モ遅シ此等ノ諸點ニ就テハ素ヨリ一年ノ試作ヲ以テ其是非ヲ判スルコト能ハスト雖トモ當地方ニ於テ肥後坊主源藏ノ如キハ好適セルモノト謂フ可シ

稻作肥料試驗成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	種量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	全上價格	支米收量	糠收量	葉量	初一升重
第五區	一畝步	神力	八、〇	鹽水撰	廿九日	廿六日	廿六日	三三	廿二日	草豆肥	10,000	3,540	5,920	147,300	135
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	草豆肥	10,000	3,550	5,940	147,000	130	
第七區	全	全	全	全	全	全	全	全	草豆肥	10,000	3,600	6,030	147,000	130	
第八區	全	全	全	全	全	全	全	全	草豆肥	10,000	3,570	6,000	147,500	135	

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付	反歩	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	糠收量	葉量
第六區	全	草油草	全	100,000	10,000	3,550	5,940	147,000	130
第七區	全	草油草	全	100,000	10,000	3,600	6,030	147,000	130
第八區	全	草油草	全	100,000	10,000	3,570	6,000	147,500	135

以上ノ成績ニ由ルトキハ第七區ノ重過磷酸石灰ヲ施シタルモノ最モ優等ニシテ骨粉區過磷酸石灰區大豆粉區ト漸次之ニ次ケリ但シ其收量ニ於テハ何レノ區モ甚キ懸隔ヲ見サレハ當地方ニ於テ最モ購入ニ困難ナル重過磷酸石灰ヲ特ニ施給スルノ急要ヲ見ス然レトモ當試作場ニ於テハ磷酸質肥料幾分ヲ施スノ必要アルヲ見ル可シ而シテ此肥料ニ適當ナルハ骨粉ナリトス何トナンハ骨粉ハ多少窒素分ヲ併含スルノ性アルヲ以テ彼是相待ツテ其效果ヲ顯ハスヘシ

備考

- 一 地形及土質 當試作場ハ東北ニ村落ヲ負ヒ其他平坦ノ濕地ニシテ粘土質ナリ
- 一 灌溉排水ノ便否 灌水及排水共便利ナリ
- 一 撰種法 穗ノ半ハヨリ末ヲ凡半分程抜キ取リ該穀ヲ鹽水撰ニス水一升ニ食塩三合ノ割合ニテ之ヲ溶解シ攪拌シテ半ハ以上浮ヒタルヲ捨テ沈ミタル分ノミヲ取揚ケ清水ニテ洗ヒ凡一週間ヲ桶ニ浸シ一日ニ一回水ヲ入替ス播種前水ヲ去リ一日々光ニ乾シテ下種ス
- 一 苗代 冬期稻株ヲ掘起シ而シテ二回ノ中耕ヲ二月中ニナシ三月中旬ヨリ雜草ヲ土中ニ鋤キ込シ四月中旬人糞

尿ヲ散布シ置キ播種前日十分整地シ(幅凡二尺五寸位)水ヲ入レ濁水ヲ沈泥セシ後下種ス

一播種法 播種ハ一坪ニ付八合ヲ下種ス

一移植法 移植ハ一坪凡三十六株ノ割合ニテ早稻中稻ハ七本晚稻ハ三本ヲ移植ス

一施肥法 普通施用ノ肥料ハ草肥百五十貫目藁五十貫目油粕二十二貫目ニシテ移植ノ前日ニ施ス其代價ハ四圓

〇八錢(一反歩)試驗場各區ノ肥料代價左ニ

草肥一貫目 代價金五厘 油粕一貫目 代價金拾四錢 大豆粕一貫目 代價金拾四錢

過磷酸石灰 全 金拾四錢 重過磷酸石灰全 金四拾五錢 交合肥 全 金拾錢

施用法ハ移植前日各區ニ散布シ磷酸質肥料ハ堆肥ト混合シテ施セリ

一耕鋤法 六月十日葉種收穫後ノ畝ヲ崩シ全十二日該土地ヲ粉碎シ水ヲ入レ全二十六日マダハニテ整地ス

一手入法 除草五回七月十六日二十二日二十七日三十日八月三日蠶瓜一回(七月十一日)灌水七回六月二十五日

全二十九日七月三日全五日全十一日七月十六日全二十二日八月三日ヨリ五日迄水ヲ落シ干燥ス八月六日亦灌

水一回九月二十日吐水ス

一試驗中ノ氣候 本年ハ移植前後ヨリ旱魃打續キタレントモ當試驗灌水ハ更ニ困難セサリシ氣候ハ十分ノ好順ニ

シテ蟲病害ナシ只第二區ハ九月十一日ノ風雨ニテ早ク打倒レタル爲メ收穫上ニ幾分ノ損害ヲ來セリ

一收穫法 自十一月廿八日終了ス其方法ハ稻株ヲ刈取リ凡十二株ヲ一把トシテ其抱ヲハ廿掛ケスルコト凡五日間

而シテ後扱取リ快晴二日間干燥ス

一收穫物ノ收穫ノ多量ナルハ神力ニテ第七區ナリ品質ニ至テハ肥後坊主ヲ最トス價格ハ一石ニ付普通ヨリ五拾錢高價ノ見込

棉作試驗

本試驗第一區ヨリ第四區迄種類試驗ヲ行ヒ第五區ヨリ第七區迄ニハ肥料試驗ヲ行ヒタルモノナリ

綿作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	自作付歩數	種名	種量	播種期	發芽期	收穫期	施肥	全上價格	實綿收量	綠綿收量
第一區	一畝歩	取赤木	二〇〇	五月十日	自九月十日 至十月廿日	青油人 草湯	四五〇〇 四六五〇	全	八、七二〇	四三、〇〇〇	一、七二〇
第二區	全	河内青	全	全	全	全	全	全	全	五、一〇〇	二、四〇〇
第三區	全	與紅	全	全	全	全	全	全	全	四、六〇〇	一、六〇〇
第四區	全	在來青	全	全	全	全	全	全	全	四、九〇〇	一、九〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	自作付歩數	一反歩當施肥量	全上價格	實綿收量	綠綿收量
第一區	鳥取赤木	一、〇〇〇	青油人 草湯 四五〇〇 四六五〇	八、七二〇	四三、〇〇〇	一、七二〇

ル且排水亦便ナリ

一撰種法 先ツ棉ノ開絮半ハ過キタル頃ヨリ末ノ棉ノ袋ノ大ナルヲ撰ミ取り該種實ヲ貯藏シ置(但半以上ノ種子ハ變化少キト思慮ス)

一播種法 先ツ棉實ヲ水ニ浸シ煤ニテ揉ミ一反歩二貫目ヲ下種ス期節ハ五月上旬ヨリ中旬マテヲ普通トス別表

第一區ヨリ第五區迄再播種セシハ早懸ノ爲メ發芽セス故ニ更ニ下種シ發芽セシ故第六七區トハ自ラ異ナリ

一施肥法 普通施用スル肥料ハ人糞一回八荷(人糞ニ水五倍ヲ加ヘタル者)油粕四十六貫目青草四百五十貫目(尤モ一反歩當)ヲ六月四日

一番肥七月三日二番肥ヲ施ス該代價金八圓七拾九錢ナリ

當試驗場モ普通肥料代價ヲ用ヒタリ

第一區ヨリ第四區迄ヲ種類試驗トシ第五、六、七區ヲ肥料試驗トス

肥料種類代價 油粕一貫目 代價金拾四錢 人糞一貫目 代價金壹錢六厘

雞糞一貫目 代價金五錢壹厘 青草一貫目 代價金 四厘

施用法ハ人糞ヲ播種前ニ元肥トシテ施シ一番肥ハ發芽粗ホ穢ヒタル頃棒ヲ以テ凡ソ二寸許距離ノ深サ五分位ノ穴ヲツキ其穴へ施肥ス二番肥ハ七月三日綿ノ陽ノ方凡三寸許下ノ方へ巾二三寸位ノ小鋏ニテ薄ク土ヲ削リ下ケ其筋へ施肥シ直ニ土ヲ覆フ青草ハ棉ノ木へ双方ヨリ土ヲ寄セ仕舞タル後一般ニ散布ス是ハ主トシテ早害ヲ防キ除草ヲ省キ棉ノ汚穢ヲ避クルニアリ

一耕鋤方法 五月九日底キ處ノ土ヲ陽ノ方へ少シ寄セ麥株凡二寸許離タル所へ小鋏ニテ一條ノ筋ヲ作り人糞ヲ施シ其上ニ種子ヲ蒔キテ薄ク土ヲ覆ヒタル上ヲ鋏ニテ叩キ六月七日陰ノ方少シ土ヲ削リテ根邊へ土ヲ寄セ全

二十八日全上七月九日麥稈ヲ刈取り該株ヲ崩シ土ヲ細カニ碎キ双方ヨリ土ヲ寄セ置(方言之ナ土掛ケト云フ)

一手入方法 六月十四日間引一回棉莖ノ長大ナルモノト最小ナル物ヲ抜キ去ル六月二十三日全上七月十日凡二寸五分位距離ニ拔去ル前後間引三回ニテ終了七月二十一日ヨリ八月十日迄三回ニ心止メ八月十一日ヨリ八月三十一日迄幹枝間ヨリ發芽スルヲカキ(方言アゴ)枝ノ末ヲ止ムコト三回其他綿ノ木ヲ引分クル是レハ日光及空氣ノ疎通ヲ良カラシメシカ爲メナリ

一氣候 播種以來早懸ニテ棉作適當ノ好順ナリ殊ニ土用中ハ寒暖計九十度以上ノ熱度自後モ暑氣強ク暴風雨及ヒ虫害ナク棉作ニハ十分ノ好順ナリシ

第一區ヨリ第五區迄ハ早懸ノ爲メ發芽ヲ妨ケ再下種セシヲ以テ收穫上幾分ノ損害ナラント想像ス

一收穫ノ方法 自八月廿九日收穫ス至十月二十日

一收穫物品質及價格 各區品位格別差異ナキモ過燐酸石灰油粕合肥料ハ光澤少シ善良ナリ價格ニ於テハ等差ナシ

南桑田郡試作場

試作擔當人 吉川村 楠 謙 吉

本試驗ヲ別テ肥料試驗及種類試驗ノ二トス肥料試驗第一區ハ紫雲英ヲ施用シ以テ普通肥トシテ給與シ來レル牛舎肥ニ比シ其効能ノ優劣ヲ試ミニト欲スルニアリ第二區ハ第一區ノ餅粕量ヲ半減シ其減量ニ對シ糞灰ヲ補施シタルモノナリ第三區ハ該地ニ於ケル普通肥ヲ施シ之レカ基礎トナシタルモノナリ第四區ハ普通肥ノ餅粕ニ代ルニ全代

價ノ油粕ヲ以テ第五區ハ全代價ノ棉實粕ヲ代用シ以テ經濟上ニ於ケル得失ヲ試ミント欲スルニアリ第六區ヨリ第八區迄ハ第三區ノ普通肥ニ更ニ磷酸質肥料ヲ添加シ以テ其効驗如何ヲ試ミタルモノナリ

稻作肥料試驗成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	種量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量	重初一升
第一區	一畝步箱崎	全	三〇合	全	五月一日	廿六日	廿六日	三六	五月十一日	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第二區	全	全	全	全	全	全	全	二二	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第三區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第四區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第五區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第六區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第七區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
第八區	全	全	全	全	全	全	全	三六	全	紫雲英 110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	箱崎	紫雲英	一反	110,000	27,000	3,091	6,710	2,040
第二區	全	紫雲英	全	110,000	3,128	6,800	2,160	2,160
第三區	全	紫雲英	全	110,000	4,200	2,861	6,210	2,160
第四區	全	紫雲英	全	110,000	2,953	6,420	2,100	2,100
第五區	全	紫雲英	全	110,000	2,760	6,000	2,040	2,040
第六區	全	紫雲英	全	110,000	5,060	2,903	6,310	2,040
第七區	全	紫雲英	全	110,000	3,418	6,430	2,130	2,130
第八區	全	紫雲英	全	110,000	2,801	6,090	2,160	2,160

以上成績ノ示ス所ニ由レハ第一、第二ノ紫雲英區ハ其効驗甚タ顯著ニシテ殊ニ第二區木灰ヲ補給シタルモノニ於テハ第三ノ普通區ニ比シ實ニ三斗六升七合ノ增收獲トナレリ之レ木灰ノ配合適度ヲ得タルニ由ル歟又第四ノ油粕區ハ其成績ノ良好ナルヲ示セリト雖トモ棉實粕ハ稍々劣ル所アリ又第六ノ過磷酸石灰區第八ノ重過磷酸石灰區ハ其効能ノ甚タ著シキヲ見スト雖トモ第七ノ骨粉區ニ於テハ第三ノ普通區ニ比シ實ニ五斗五升七合ノ增收獲トナリ其成績ノ頗ル見ル可キモノアリ然レトモ其効能ハ其含有セル磷酸分ノ作用ニ由ルニ非ラスシテ其併含セル窒素分

ニ由ルニアラサルナキ歟蓋シ過磷酸石灰ヲ以テシタルモノハ毫モ磷酸分ノ顯著ナルヲ認メサレハナリ
 之ヲ要スルニ本試験場ハ窒素質肥料ノ供給ヲ望ムコト大ニシテ磷酸肥料ハ他ノ窒素肥料ト併施スルニ非ラサレハ
 特ニ其功要ヲ見サルナリ

稻作種類試験成績表 第一表

項目	第一區	第二區	第三區	第四區
作付	晚源造	榮香全	肥後坊主全	万作坊主全
種名	一、五、五、水、換	全	全	全
量	五月	全	全	全
播種期	六月廿三日	全	全	全
移植期	六月廿三日	全	全	全
一坪株數	三六二	三六二	三六二	三六二
收穫期	十一月廿二日	全	全	全
施肥	牛糞肥	全	全	全
量	10斤	全	全	全
全上價格	1100	全	全	全
玄米收量	1000	全	全	全
粗收量	1000	全	全	全
糞量	1000	全	全	全
一升	1000	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

項目	第一區	第二區	第三區	第四區
種名	晚源造	榮香全	肥後坊主全	万作坊主全
作付反別	一、反	全	全	全
一反歩當施肥量	1000	全	全	全
全上價格	1100	全	全	全
玄米收量	1000	全	全	全
粗收量	1000	全	全	全
糞量	1000	全	全	全

以上試作結果ニ由レハ其收穫ノ最モ多量ナルハ萬作坊主ニシテ榮香之ニ次キ肥後坊主源藏亦之ニ次ケリ又品質ノ
 善良ナルハ萬作坊主ニシテ次ハ肥後坊主トス源藏ハ重量ニ於テ他ノ三種ニ劣ル所アリ

備考

- 一 地形及ヒ土質 當試験場ハ龜岡ヨリ篠山ニ達スル街道ニ沿ヒ里程廿町餘ヲ隔ツ四方ノ山道ク本郡ノ中央ニ當
 レリ水脈ハ南ヨリ北ニ流レ日陽ニシテ高燥乾地ト云フ可シ土質ハ粘性細砂土ニシテ鉄氣ヲ含ムコト少カラス
- 一 灌溉排水ノ便否 灌水ハ河水ヲ以テ養水トス然レトモ旱懸續ク時ハ湧水ニ踏車ヲ使用シ灌水ノ湧水ニハ鐵氣
 アル事少カラス且ツ排水ハ本場ノ東西ニ溝渠アルヲ以テ大ニ便ナリ
- 一 病害豫防ノ方法 病害ナシ
- 一 浸種 ハ播種八日前撰種シタルモノヲ小俵ニ入レ其外面ヲ泥除ケトシテ蒲ニテ包ミ流水ニ浸漬シ一週間即チ
 播種ノ前日之レヲ引揚ケ小俵ノ儘日光ニ曝ラシ其夕室内ニ入レ置キ翌朝播種ス
- 一 苗代 秧田ニ紫雲英ヲ蒔キ四月中旬ニ至リ苧採リ後直ニ一番犁ヲナシ數日間乾燥シ人糞及ヒ牛糞尿ヲ施用ニ
 一番耕ヲ爲シ又四五日ヲ經テ油粕ヲ施肥シ三番耕ヲ爲ス播種三日前置水代耕(俗ニ一)攪擾シ翌日水ヲ落シ草木
 灰及ヒ牛舎肥(成熟)ヲ撒布シ田面ニ存セル肥料ヲ押込ミ足跡ヲ埋メ其跡ヲ棒ニテ平面一棒ニシ一日間日光
 ニ乾カシ後チ水ヲ灌キ入ル肥料ハ一步ニ付キ草木灰三百目廐肥一貫目油粕五十目人糞及ヒ牛糞尿二貫五百目
 ナリ苗ノ成長ニ從ヒ稗其他雜草ヲ拔キ取り害虫驅除ニ注意ス
- 一 播種法 播種ノ分量ハ一步ニ付キ大粒ハ五合小粒ハ四合播キニシテ五月一日播種セリ

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	扱收量	糞量
第三區全	全	全	全	全	全	全	全
第四區全	全	全	全	全	全	全	全
第五區全	全	全	全	全	全	全	全
第六區全	全	全	全	全	全	全	全
第七區全	全	全	全	全	全	全	全
第八區全	全	全	全	全	全	全	全

(五十四)

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	扱收量	糞量
第一區	晚稻大和	一反	100,000	4,410	3,465	6,850	245,000
第二區全	全	全	全	全	全	全	全
第三區全	全	全	全	全	全	全	全
第四區全	全	全	全	全	全	全	全
第五區全	全	全	全	全	全	全	全

以上成績ノ示ス所ニ由レハ收穫ノ最モ多量ナルハ油粕區ニシテ經濟上安價ノ肥料タルヲ示シ次ハ醬油粕及ヒ繭粕ニシテ燒酎粕ハ稍々劣等ナル所アリ又第六區(骨粉)第七區(重過磷酸石灰)第八區(葉灰)ノ磷酸及加里肥料ヲ補添シタルモノニアリテハ其成績ノ善良ナラサルノミナラス却テ其收量ヲ減殺スルノ傾アリ是レ頗ル怪ム可キノ點ナリト雖トモ之ヲ前年ノ成績ニ徵スルモ殆ント全一ノ結果ニ出ツルカ如ク之ヲ要スルニ本試驗場ニ於テハ窒素質肥料ノ甚タ有効ナルヲ認ムト雖トモ磷酸加里ヲ特ニ給與スルノ切要ナルヲ見サルナリ然レトモ粒質堅實ニシテ重量ヲ有シ品質光澤共ニ善良ナルハ窒素質肥料區ノ及フ所ニ非ラサルナリ

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	作付	種名	量	播種期	移植期	一株株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	扱收量	糞量	初一升
第十區	全	榮香全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第九區	全	源藏全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第十五步	坊肥	坊主	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

(五十五)

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

區名	種名	作付反別	一反歩當肥料	全上價格	玄米收量	粉收量	糞量
第九區	肥後坊主	一反	1000	3,100	2,710	4,700	196,000
	萬作坊主	全	全	全	3,130	5,680	220,000
第十區	源藏	全	全	全	3,260	6,000	190,000
	榮香	全	全	全	2,940	5,360	220,000

以上ノ結果ニ由レハ源藏ハ其收量ノ多キヲ占メ萬作之ニ次キ榮吾肥後坊主亦之ニ次ク然レトモ單ニ收量ノ多寡ヲ以テ論センヨリ其地方ニ於ケル氣候風土ノ關係及品質ノ善惡ヲ調査シ以テ其適否優劣ヲ判斷セサル可カラス

- 備考
- 一 播種法ハ例年ノ通り攪水撰トシ糞撰ニテ精撰シタルモノ一升ノ内ニ合迄淨フ位イニ攪ヲ投入シテ撰タルモノ
 - 一 病害等ハ更ニ無之
 - 一 浸種ハ例年ノ通り七日間
 - 一 苗代ハ例年ノ通り牛舎肥ト灰トヲ施シタル處ヘ播種ス
 - 一 播種ハ一坪ニ付五合ニ播種ス但シ方法ハ南北ニ延長シタル四尺幅ノ畦狀ニ播ス

一耕鋤及手入等ハ例年ノ通り

一 試驗中本年最初ヨリ早懸ニテ水ニ渴シ收穫上ニ大害ハナキモ或ハ養水必用中ニ四日目若クハ五日目甚ダシキハ七日目位イニ一回灌溉スルコト度々打續キ之レカ爲メ或ハ少々ハ收穫上ニ損失ヲ來タシタル乎ト推量セリ

一 收穫物一區ヨリ八區ハ號名大和此米中等ノ上品ナリ色澤黒クシテ光リアリ粒形最大ナリ

種類試驗區九、十ノ二區四種ノ中號名萬作此米優良ナレ共色黒クシテ光澤アリ肥後源藏類似ノ品質ニシテ萬作ニ次キ榮吾ハ白色ニ光澤アリ上品ナントモ粒形至テ小粒ナリ

北桑田郡試作場

試作擔當人 弓削村 海老瀬 文之助

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	作付	種名	量換	種播期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	粉收量	糞量	初一升
第一區	一反歩	白穗	四五	五月	五月	六月十五日	四九	十月廿四日	全	1000	3,100	2,710	4,700	196,000	1000
第二區	全	大和錦	全	全	全	全	全	十月廿四日	全	全	3,130	5,680	220,000	1000	
第三區	全	柳力	全	全	全	全	全	十月廿四日	全	全	3,260	6,000	190,000	1000	
第四區	全	八重穗	全	全	全	全	全	十月廿四日	全	全	2,940	5,360	220,000	1000	
第五區	全	赤穗	全	全	全	全	全	十月廿四日	全	全	3,260	6,000	190,000	1000	
第六區	全	晚源造	全	全	全	全	全	十月廿四日	全	全	2,940	5,360	220,000	1000	

第七區全	榮吾全	全	全	全	全	十月全	全	全	全
第八區全	市着全	全	全	全	全	十月全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上似格	支米收量	初收量	藥費
第一區	白穗	一〇〇反	油 肥 100000	三、六七五	二、〇八〇	三、八五〇	一一〇、〇〇〇
第二區	大和錦	全	全	全	二、〇〇〇	三、七〇〇	一〇〇、〇〇〇
第三區	神力	全	全	全	二、一〇〇	三、七〇〇	一三五、〇〇〇
第四區	八重穗	全	全	全	一、九九〇	三、七〇〇	八七、〇〇〇
第五區	赤穗	全	全	全	一、八五〇	三、三五〇	一〇六、〇〇〇
第六區	晚源造	全	全	全	一、九〇〇	三、八〇〇	九〇、〇〇〇
第七區	榮吾	全	全	全	二、〇五〇	三、八七〇	一〇八、〇〇〇
第八區	市着	全	全	全	一、七五〇	三、六〇〇	九八、〇〇〇

以上試作成績ノ示ス所ニ由レハ收量ノ最多ク來セシハ神力ニシテ白穗之二次キ榮吾大和錦八重穗亦之二次ク然レトモ該成績ヲ以テ十分ノ結果ヲ得タルモノト謂フ可カラス何トナレハ該試驗ハ苞蟲ノ發生甚シキノミナラス九月十一日ノ暴風ハ大ニ之レカ試驗ヲ妨ケ收量ニ於テ甚シキ影響ヲ被リタレハナリ殊ニ該郡ノ如キ氣候濕冷ナル地方ニアリテハ成熟ノ早晚、莖幹ノ強弱等ニ注意シ其適否優劣ヲ判斷セサル可カラス

備考

- 一 地勢及ヒ土質 本郡中央部ニ在リ四面平坦ニシテ四方山低ク日當リ風透シ共ニ好シ水脈ハ北ヨリ南ニ流ル土質ハ表土粘壤土ニシテ底土ハ全ク重粘土ナリ田ノ東西ニ養水溝アリテ溝底又重粘ニシテ頗ル淺シ故テ以テ土地常ニ温潤ナリ
- 一 灌溉及排水ノ便否 灌溉ハ河水ヲ以テ養水トナスニ便ナリ排水ハ從前ヨリ其設アリト雖トモ養水ノ溝底淺クシテ其用ヲナサス
- 一 播種及浸水法 浸水ノ際鹽水撰トシ一月十日ヨリ流水ニ浸漬ス
- 一 苗代 ハ土地砂壤土ニシテ深サ四寸許リニ冬季二回耕起シ四月二十八日整地シ五月一日一坪ニ付四合五勺ノ割ヲ以テ播種ス整地ノ様ハ巾四尺ニシテ長サ適宜河水ヲ以テ養水トナス肥料ハ早春厩肥一畝歩ニ付二十五貫ヲ一回ニ施ス播種後ハ除草スルコト數回ナリ
- 一 移植法 兼テ整地シタル本田ニハ一間毎ニ繩ヲ引キ町疇ニ正列ヲ主トス
- 一 施肥法 普通施用スル所ノ厩肥及油粕ヲ整地ヨリ二三日前一回ニ施ス
- 一 耕耘法 秋收穫後二回都合三回ノ耕耘ス
- 一 手入法 六月二十四日蟹爪打ヲナシ以後十日毎ニ除草スルコト三回ナリ
- 一 試作中氣象變異及病虫害ノ有無 七月中旬迄ハ蒼々トシテ其發育甚タ盛ナリシカ七月下旬ヨリ葉卷虫ノ發生甚シク漸次其發育ヲ遲フスルニ至リ是レハ其繁殖甚タ速ニシテ被害甚シキヲ以テ八月上旬專ラ撲殺ニ力ヲ

盡クタリ然レトモ其繁殖ノ速カナルニハ實ニ驚キタリ此害ヲ蒙ムリタルモノハ早生稻ニ多ク殊ニ巾着種ノ如キハ其結實ニ際シ甚クシキ慘狀ヲ呈スルニ至レリ又晚生種力ノ如キハ稍々其害少ナキモノ、如ク見ヘタリ之レ稔孕ニ於テ其繁殖ヲ經過シ漸次化歸セシニ因ルナラン

八月下旬迄ハ旱天打續キ降雨甚ク少クシテ八月下旬以後ハ降雨多ク又收穫期前二十日程ハ晴天打續キタリ病害ニ罹リタルモノナシ

船井郡試作場

試作擔當人
園部村 田中辰二郎
桐ノ莊村 奥村新二

本試驗第一區ヨリ第七區迄ハ肥料試驗ヲナシタルモノナリ即チ第一區ハ該地方普通肥ヲ普通量ニ施シ以テ他區ノ効驗如何ヲ比較スルニアリ第二區ヨリ第四區迄ハ第一區ノ油粕ト其代價ヲ等フスルモ其種類ヲ異ニセル肥料ヲ施給シ以テ經濟上ニ於ケル利害得失ヲ試驗シ以テ該地方ニ於ケル適切肥料ヲ探求セント欲スルニアリ第五區ヨリ第七區迄第一區ノ普通肥ニ更ニ磷酸肥料ヲ補添スルノ必要アリヤ否ヤヲ試ミタルモノナリ

稻作肥料試驗成績表

第一表

區名	作付	種名	量	種播期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	初收量	總收量
第一區	二畝	東	九〇	五月三日	六月廿六日	六月廿六日	三七	十月廿四日	糞粕肥	四〇〇〇	四〇〇〇	二四一五	四七四〇	二二三〇〇〇
第二區	全	全	全	全	全	全	三八	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	全	全	全	全	全	三九	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	全	全	全	全	全	三九	全	全	全	全	全	全	全
第五區	一畝	步	全	全	全	全	三九	全	全	全	全	全	全	全
第六區	一畝	十步	全	全	全	全	三七	全	全	全	全	全	全	全
第七區	一畝	非	全	全	全	全	三七	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付	反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	總收量
第一區	東	全	一〇〇	四〇〇〇	四二七〇	二一四五	四三八〇	一七八、五〇〇
第二區	全	全	全	四〇〇〇	全	二四三〇	四八六〇	一九七、四〇〇
第三區	全	全	全	四〇〇〇	全	二四三五	四八六〇	一九一、八〇〇
第四區	全	全	全	四〇〇〇	全	二四一五	四七四〇	二二三〇〇〇

第五區全	第六區全	第七區全
全	全	全
過澆石灰 糞肥 油粕 人糞	重澆石灰 糞肥 油粕 人糞	骨入油粕 糞肥 粉糞
100,000 10,000 10,000 10,000	100,000 10,000 10,000 10,000	100,000 10,000 10,000 10,000
五、四六〇	五、四六〇	五、四六〇
二、四八〇	二、三一四	二、三〇〇
四、八〇〇	四、五六〇	四、四四〇
二一〇,〇〇〇	二一六,〇〇〇	一八四,〇〇〇

(六十二)

以上成績ノ示ス所ニ由レハ鮮粕メ粕區ハ其ニ良効ニシテ頗ル廉價ノ肥料タルヲ示シ米糠之ニ次ケリ油粕ハ鮮粕ニ比レ一反歩ニ斗八升五合ノ減收トナルヲ以テ實ニ高價ノ肥料ト謂ハサル可カラズ又第五區ノ過澆石灰ヲ添加シタルモノニアリテハ第一ノ普通區ニ比シ其收量更ニ徑庭ナシト雖トモ第六區ノ重澆石灰第七區ノ骨粉ヲ補添シタルモノニアリテハ何レモ普通區ニ比シ一反歩一斗五升五合乃至一斗六升八合ノ增收獲トナレリ以テ澆澆肥料ノ有効ナルヲ知ルニ足ル蓋シ骨粉ハ或ハ窒素分ヲ併合スルカ爲メ往々良効ノ結果ヲ顯ハズト雖トモ重澆澆石灰ニ對シ特リ過澆澆石灰ノ有効ナルヲサレハ或ハ其狀態ノ同シカラサカ爲メ斯ノ如キ結果ヲ生シタルニ非ラサルカ此等ハ再應ノ試驗ヲナシ以テ其成績ヲ確實ナラシメンコトヲ要ス

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	作付	種名	播種	播種期	移種期	一株本數	收穫期	施肥	量	全上價格	米收量	糠收量	糞量	一升
甲一號	一畝	早	杉	全	五月廿三日	六月廿六日	三九	十月廿四日	人糞	10,000	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五

甲二號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙一號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙二號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙三號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙四號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙五號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五
乙六號	一畝	早	杉	全	五月廿五日	六月廿八日	三九	十月十八日	全	全	四、三三	四、一六七	一六、三〇〇	一、六三〇	一、五五

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	米收量	糠收量	糞量
甲一號	政	岡	全	100,000 10,000 10,000 10,000	四、二七〇	二、一五〇	四、四七〇	一九二,〇〇〇
甲二號	日	出	全	100,000 10,000 10,000 10,000	四、二七〇	二、一五〇	四、四七〇	一九二,〇〇〇
乙一號	白	玉	全	100,000 10,000 10,000 10,000	四、二七〇	二、一五〇	四、四七〇	一九二,〇〇〇
乙二號	早	杉	全	100,000 10,000 10,000 10,000	四、二七〇	二、一五〇	四、四七〇	一九二,〇〇〇

(六十三)

乙三	號萬作坊主	全	全	全	全	二、一五四	四、三八二	一六八、二一五
乙四	號肥後坊主	全	全	全	全	一、九五〇	三、九〇〇	一五三、二一四
乙五	號榮吾	全	全	全	全	一、七〇四	三、七八二	一四六、七八四
乙六	號晚源藏	全	全	全	全	二、〇六八	四、一三六	一八〇、〇〇〇

本試験ハ甲乙二部ニ別レ土質及位置ヲ異ニセルヲ以テ其成績ノ異同ヲ免ル、コト能ハス故ニ甲乙各別ニ判断スルヲ要ス

甲區政岡ハ品質及收量ニ於テ日出種ト甚シキ差違ヲ見スト雖トモ粉皮ノ厚キト成熟期ノ遅キハ欠點ナリトス
乙區ノ成績ハ概シテ宜シカラス殊ニ七月下旬ヨリハ一種ノ病害ニ罹リ著シク其收穫ヲ殘セリ其害ノ最モ甚シキハ榮吾ニシテ漸次蔓延シテ肥後坊主及晚源藏ニ傳播スルニ至レリ唯萬作坊主早杉白玉ニ於テ稍々成績ノ見ル可キモノアリト雖トモ未タ以テ其適否如何ヲ微スルコト能ハサルナリ

備考

- 一 地形及土質 當試験場ハ東南低ク日向ニテ壤土質下層粘土ナリ
- 一 灌溉排水ノ便否 灌溉少シク不便排水便ナリ
- 一 撰種法 塩水撰トシ則チ食鹽一貫三百目ヲ水一斗ニ合シ四斗桶ニテ浸シ浮粒ヲ取除キ清水ニテ能ク洗ヒ俵ニ入レ浸水セリ

- 一 病害豫防方法 當試験場中種類試験ノ部病害ヲ發見シ殊ニ第五號稻ノ名榮吾ノ分七月中旬ニ至リ(イモチ)ヲ生シタルヲ以テ除草ヲ見合シ種々豫防ヲ行ヒタルモ漸次全號ニ傳染セリ八月上旬ニ至リ潤雨ノ爲メカ少シク手直リタルモ通常ノ收穫ヲ得ル能ハス其他肥料試験ノ各區ニ於テハ病害ヲ免ヌカル
- 一 浸水 四月十七日水ノ交換スル棚池水面ヨリ一尺位イ下ニ浸種シ五六日毎ニ叔俵裏面ヲ表面トシ十四日ヲ經テ五月一日ニ引上ケタリ
- 一 苗代 苗床一畝歩トシ第一回耕鋤スル際人糞三荷ヲ施シ第二回ヲ耕鋤シ土塊ヲ粉細シ第三回ニテ水ヲ引キ土壌ヲ平均シ木灰米糠四斗ヲ混ス
- 一 播種法 播種量一坪四合トシ五月三日播種セリ普通法ト概一合ヲ減シタリ
- 一 移植法 六月二十五日概一坪三十八九株トシ本數ハ五六本ヲ挿入ス
- 一 施肥法 普通施用スルト全様油粕メ粕餅骨粉過燐酸石灰米糠等ハ麥跡へ撒布シ耕鋤シタルノ後牛糞人糞ヲ撒布セリ分量ハ表中ニ掲記ス
- 一 耕鋤法 六月十四日麥跡ヲ耕鋤シ全二十三日二十四日ニ整地ス通常ヨリ一寸餘深耕セリ
- 一 手入法 除草五度トシ七月四日蟹爪打全十一日土壤ヲ平均シ全二十一日八月十八日ニ第五回ニテ留マ草畢ル但シ本年ハ格外ノ旱魃ニテ凡ソ除草ハ五六日ヲ後シタリ
- 一 試験中ニ於ケル氣候 播種以來氣候本順快晴打續キ發芽充分ナレトモ降雨少ナク耕地白土トナリ施肥其宜シキヲ得タルモ移植後益快晴續キ生育繁茂シタルニ降雨少ナク始終養水欠乏而シテ九月中旬暴風ニテ一分方ノ

損害ヲ受ケタルモ充分繁茂セシヲ以テ通常ヨリ五厘方ノ收穫ヲ得タリ

一收穫法 十月二十五日刈取稻木ニ掛ケ十一月十日穂ヲ扱キ取り二日間穀干シ十月十九日摺白ニテ米トシ風車及千石通シニテ仕分ケ精米トス

一收穫ノ品位 第二區五區七區ノ出來米ヲ一等ト見認メ之レニ次クモノ第四區六區八區トス種類試驗區ニテハ萬作ヲ一等トシ白玉早杉源藏トス萬作白玉東京代價ハ目下七圓七八拾錢他ハ七圓三四拾錢ナリ

何鹿郡試作場

試作擔當人 中筋村 大島市太郎

本試驗ハ其成績ヲ精確ナラシメソカ爲メ同一手續ヲ甲乙二部ニ分テ之ヲ執行シタリ而シテ肥料試驗第一區ハ油粕ヲ以テシ第二區ハ燒耐粕ヲ以テシ第三區ハ人糞ヲ以テシ以テ經濟上ニ於ケル肥料ノ得失ヲ究ムルニアリ第四區ヨリ第六區迄ハ第三區ノ普通肥ニ更ニ磷酸質肥料ヲ添加シタルモノナリ

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	項目	作付		種名	品種	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	一株本數	收穫期	施肥	肥料	量	全上價格	支來收量	初收量	量	重	初一升	
		甲	乙																		
第一區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		

區名	項目	作付		種名	品種	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	一株本數	收穫期	施肥	肥料	量	全上價格	支來收量	初收量	量	重	初一升	
		甲	乙																		
第二區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		
第三區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		
第四區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		
第五區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		
第六區	一畝歩	八	八	澁水	澁水	十五日	廿六日	廿六日	四	八	廿八日	油	柴	肥	三	三	三	三	三	三	三
		全	全																		

右試作結果ヲ甲乙平均シ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

項目	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	糠收量	糞量
第一區	八ツ倉	一〇〇	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	三,六〇〇	二,二八〇	四,五三〇	一三八,〇〇〇
第二區	全	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	全	二,一八七	四,三五〇	一二九,〇〇〇
第三區	全	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	全	二,一三三	四,二二五	一二七,〇〇〇
第四區	全	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	四,二〇〇	二,一〇二	四,一八〇	一二九,〇〇〇
第五區	全	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	全	二,一六六	四,三一三	一三六,〇〇〇
第六區	全	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	全	二,一八三	四,三四五	一三一,〇〇〇

以上試驗成績ノ示ス所ニ由レハ第一區ヨリ第三區迄肥料種類ヲ異ニセルモ其收量ニ於テ甚シキ差アルヲ見ス又過
 磷酸石灰重過磷酸石灰骨粉ヲ補添シタル各區ニ於テモ其收量亦甚ク類似セルヲ見ル蓋シ肥料ハ其性質及養分ノ異
 ナルニ從テ作物ニ及ホス効驗ニ遲速多少ヲ生スルハ試作上免ル可カラサルモノナルカ故ニ尙重テテ充分ナル實驗
 ナ行ヒ以テ其効驗得失如何ヲ試ム可シ

(因ニ記ス本試驗場ハ本年初テ着手シタルモノニシテ土質ノ不同前作肥料ノ關係等ニ由リ差アリ此成績ハ正確
 ナリト謂可カラス且ツ試驗區劃ヲ設ケルノ際頗ル土質ヲ固結セシメ爲メニ大ニ稻ノ株張ヲ害シ收穫ヲ減少スル

ノ不幸ニ遭遇セリ)

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	糠收量	糞量
第一區	二十歩晚源藏	全	鹽水糞 十五 廿六日	四八 廿八日	全	二,一〇〇	九四〇
第二區	坊肥圭後	全	全	五 廿九日	全	二,五〇〇	八四〇
第三區	福山	全	全	五 廿五日	全	二,三九〇	七四〇
第四區	榮香	全	全	五 廿一日	全	二,二〇〇	六四〇
第五區	八ツ倉	全	全	五 廿八日	全	二,一八〇	六四〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	糠收量	糞量
第一區	晚源藏	全	油柴 110,000 粉肥 110,000 油柴 110,000 粉肥 110,000	三,六〇〇	一,六六五	三,三三〇	一四,一〇〇〇
第二區	肥後坊圭	全	全	全	一,八七五	三,七二九	一二六,〇〇〇
第三區	福山	全	全	全	二,〇九六	四,一八五	一〇九,五〇〇

第四區	榮香全	全	全	全	全	一、八〇〇	三、五八五	一、二六、〇〇〇
第五區	八ツ倉全	全	全	全	全	二、一九〇	四、三二八	一、四七、〇〇〇

(七十)

以上試作結果ニ由ルハ收穫ノ最モ多量ナルハ八ツ倉ニシテ福山肥後坊子之ニ次キ源藏ノ收穫甚ク減少セシハ風害ニ罹ルコト甚シキニ由ル九月十一日暴風雨ハ早中種ニハ被害薄シト雖トモ晩熟種ハ殊ニ甚シキカ如シ

備考

土質 砂質壤土

耕土 凡三寸五分

前作 小麥跡地ナリ

攪種法并浸水法 塩水攪ニシテ浸水日數九日間ナリ

秧田肥料 苗床一坪ニ付生草三貫目糞實二百目ヲ原肥トシテ施用セリ

播種量并日 苗床一坪ニ付五合ヲ五月十日ニ播下セリ

播種前後秧田異狀ノ有無 六月五日頃ヨリ蛾發生シタルヲ以テ殺滅燈ヲ以テ毎夜驅除ヲ行ヒ又ハ毎朝苗代ノ周

圍ヲ廻リ螟虫ノ卵ヲ取りタルカ爲メ大ニ虫害ヲ減セリ

施肥月日 六月廿二日

除草ノ度數 雁爪打一回除草五度

植付後二十日ヲ經タルトキ各種稻ノ狀況 晚源藏福山榮吾ノ三種ハ苗ノ少シク伸ヒ過キタルニ植付ノ翌日大降

雨ニテ水量過カニ増シ苗甚タ倒臥シ爲メニ發育遅クレタリ八ツ倉肥後坊主ノ二種ハ苗強固ナリシヲ以テ右ノ

感ヲ免カレタリキ

植付後四十日ヲ經タルトキ各種稻ノ狀況 前項ニ異ナラスト雖トモ發育ニ後レタル稻モ漸次成長シ收穫前ニ

至レハ格別ノ差ヲ生セサル見込ヲ附シタリ

發生中風雨旱損虫害等臨時ノ出來事并其處分 福山稻ハ種類中早稻ニ付キ別ニ風雨ノ害ナシト雖トモ其他ノ四

種ハ九月十一日風雨暴ノ爲メ大損害ヲ被レリ大ニ收量ヲ減セリ

發生中氣候ノ大畧 播種後七月四日頃ニ三日間計リ降雨アリシモ其後暑熱強クシテ氣候ハ適順ト云フヘシ

各種米質ノ品位 八ツ倉ハ品質色澤トモ最良ニシテ上位ヲ占メ福山榮吾之レニ次キ肥後坊主晚源藏又之レニ次

ク而シテ八ツ倉ヲ除クノ外ハ皆品位中等ナリトス

天田郡試作場

試作擔當人 曾我井村 菅 沼 岩 藏

本試験ヲ別テ肥料試験及種類試験ノ二トス肥料試験第一區ニハ油粕ノ普通量ヲ施與シ以テ之ニ比較ノ基礎ヲ取リタルモノナリ第二區ハ油粕ニ代フルニ全代價ノ蠶糞ヲ以テシ第三區ハ油粕ニ代フルニ全代價ノ人糞及紫雲英ヲ以テシ第四區ハ油粕ニ相當スル代價ヲ以テ單ニ人糞ノミヲ施給シ以テ該地方經濟上ニ於ケル肥料ノ得失ヲ究メント欲スルニアリ又第五區ヨリ第八區迄ハ第四區ノ人糞幾分ヲ割テ木灰過燐酸石灰重過燐酸石灰ヲ補添シ以テ該地ニ

於ケル加里燐酸肥料ノ効驗如何ヲ知ラント欲スルニアリ

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	作付	種名	量換	種播期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	初收量	糞量	重粉一升
第一區	一畝歩	八ツ裁		五月三日		六月廿七日	四二〇	十一月一日	紫草肥	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
第二區	全	全		全		全	全	十一月三日	油粕	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第三區	全	全		全		全	全	十一月三日	紫雲英	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第四區	全	全		全		全	全	十一月三日	人糞	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第五區	全	全		全		全	全	十一月三日	木灰	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第六區	全	全		全		全	全	十一月三日	人糞	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第七區	全	全		全		全	全	十一月三日	骨粉	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
第八區	全	全		全		全	全	十一月三日	重過燐酸石灰	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

右試驗結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	八ツ裁	全	油粕	三、〇〇〇	二、八三〇	五、五三〇	二、五五〇
第二區	全	全	紫雲英	一、〇〇〇	二、六二〇	五、二〇〇	二、三六〇
第三區	全	全	人糞	一、〇〇〇	二、四七三	四、七一〇	二、二六〇
第四區	全	全	木灰	一、〇〇〇	二、七三〇	五、一九〇	二、三三〇
第五區	全	全	人糞	一、〇〇〇	二、四二〇	四、六一〇	二、二〇〇
第六區	全	全	骨粉	一、〇〇〇	二、五三五	四、八三〇	二、一八〇
第七區	全	全	重過燐酸石灰	一、〇〇〇	二、四二〇	四、七一〇	二、二二〇
第八區	全	全	重過燐酸石灰	一、〇〇〇	二、四二〇	四、七一〇	二、二二〇

以上成績ノ示ス所ニ由レハ第二區ノ糞ヲ以テシタルモノニアリテハ第一ノ普通區ニ比シ一反歩殆ント二斗ノ増收アリ此結果ハ前年試驗成績ト能ク相一致スルヲ以テ糞ノ該地方ニ經濟ニシテ得策ナル肥料タルヲ知ル可シ但シ品質ノ劣等ナルハ當業者ノ宜シク注意スヘキ点ナリトス又第三區ノ人糞及紫雲英ヲ配合シタルモノ第四區ノ人糞ヲ單施シタルモノニアリテハ普通肥ニ比シ孰レモ劣ル所アリ是レ肥料ノ窒素分ニ偏倚シタルノ結果ニアラサルナキ歟故ニ此等ノ場合ニ於テハ木灰或ハ燐酸肥料ノ幾分ヲ補施シ以テ其配合ヲ適度ナラシムルコト第五區ニ於ケルカ如キヲ要ス又第六區ヨリ第八區迄燐酸幾分ヲ添加シタルモノニアリテハ良効ノ成績ニ接セスト雖トモ品質光澤ノ善美ナル遠ク窒素肥料區ノ上位ニアルヲ見ル

稻作種類試驗成績表

第一表

項目	作付	種名	種量	播種期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	籾收量	重量	一升
第一區	十五步	晚源造	全	五月三日	六月廿七日	四十二	十一月五日	柴草堆肥	七五〇	四三	一三〇石	一三〇石	一〇七〇	一〇七〇
第二區	全	榮香	全	全	全	全	全	全	全	全	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇
第三區	全	坊後	全	全	全	全	全	全	全	全	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇
第四區	全	福山	全	全	全	全	全	全	全	全	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇
第五區	全	鳴谷	全	全	全	全	全	全	全	全	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇	一〇七〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	籾收量	重量
第一區	晚源造	全	一、〇〇	三、四六〇	二、四一〇	四、七六〇	二、二四、〇〇〇
第二區	榮香	全	全	全	一、一六〇	四、四一〇	三、三二、〇〇〇
第三區	坊後坊主	全	全	全	二、四一〇	五、〇〇〇	一、九二、〇〇〇
第四區	福山	全	全	全	二、三九〇	四、七二〇	二、五二、〇〇〇
第五區	鳴谷	全	全	全	二、三九〇	四、五八〇	二、六〇、〇〇〇

以上ノ試驗結果ニ由レハ其收量ノ最モ多キハ肥後坊主及源藏ニシテ福山鳴谷之ニ次ケリ然レトモ其種類ノ善惡適

否等ハ氣候風土ニ密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ尙充分ナル實驗ヲ爲サントナ要ス
備考

- 一 地形及土質 地勢ハ東西ニ長ク南北ニ短シ東北方ハ田野廣ク西南ハ漸ク高シ日陽ヨク高燥ナリ土質ハ壤土ニ少ク砂礫ヲ混ス底土ハ砂礫質粘土ニシテ甚堅シ
- 一 灌溉排水共ニ便ナリ
- 一 撰種法 撰種ハ水一斗ニ食鹽一貫二百匁ヲ溶解シタル鹽水ニ籾ヲ投シ攪拌シ其浮ヒタルモノヲ去ル
- 一 浸種法 浸種ハ籾種ヲ俵ニ入レ清水ニ浸ス十日間ナリ
- 一 苗代法 苗代幅四尺長サハ有丈ニ作り肥料ハ一坪ニ付木灰二升ヲ施ス又苗床ヲ整地スル際少シク生草ヲ踏ミ込ム
- 一 播種法 播種法ハ普通一坪ニ付一升乃至八合ナレトモ本場ハ一坪ニ付四合ヲ播下ス
- 一 耕鋤法 六月十八日耕鋤シ全二十七日耕把ス又鋤ヲ以テ小凸凹ヲ平均ス
- 一 移植法 移植法ハ各試驗共一坪ニ付四十二株トシ一株ニ五本ヲ播秧シ植並ハ縱横ヲ通ス
- 一 施肥法 普通施肥法ハ柴草廐肥ハ堆肥ヲ鋤込ミ次ニ農場肥料等ヲ施シ三番除草ノ頃ニ又此等ノモノヲ施スモ本場ハ大低移植ノ前ニ當テ施肥シ(他ハ流失セサル様手畔ヲ作リテ後ナレハナリ)人糞ノ半部ハ七月十六日(三番除草前)ニ施ス
- 一 各肥料一貫目ノ代價

油	粉	灰	木
拾七錢	拾四錢	壹錢五厘	灰
紫雲英	糞	重過磷酸石灰	重過磷酸石灰
八厘五毛	六厘四毛	四拾七錢	四拾七錢
糞	骨粉製過磷酸石灰	紫草堆肥	紫草堆肥
貳錢五厘	八錢	七厘	七厘

一手入法 移植セシヨリ十三日ヲ經テ(七月十日)蟹爪ヲ以テ打反ヘシニ日ヲ經テ同十二日除草シ同十一日ヲ經テ(七月二十三日)除草シ十日ヲ經テ(八月二日)四番草ヲ除シ又八日ヲ經テ(八月十日)五番除草ヲ爲ス此日ヨリ排水シテ三日間中乾クナス九月十五日水落クナス

一試驗中氣候ノ變異虫害ノ有無及景況 六月中旬移植期ハ旱魃ノ爲メ少シク時期ヲ後レシモ格別ノ害ヲ見ス九月十一日暴風雨起リ折シモ開花ノ時ニテ害ヲナスコト甚シ而シテ肥料試驗ハ各區一樣ノ被害ナルモ種類試驗區ニテ被害ノ少キモノバ(肥後坊主)(畠源藏)稍甚シキモノハ(榮吾)(福山)最モ甚シキハ番外ノ鵬谷種ナリ虫害ハ之レナシ

一收穫法 中稻肥後坊主ハ十月二十四日ニ刈入レ八ッ倉ハ十一月二日其他種類試驗區モ十一月二日ニシテ番外鵬谷種ハ同月七日ナリ何レモ掛乾ニシテ後普通ノ調製ヲナス

一各試作仕上米品位及價格

肥料試驗	種類試驗
一區上等金七圓五拾錢	一區上等金七圓五拾錢

二區中等	金七圓四拾錢	二區同	同
三區上等	金七圓五拾錢	三區同	同
四區同	同	四區同	同
五區同	同	番外同	同
六區同	同		
七區同	同		
八區同	同		
番外同	同		

加佐郡試作場

試作擔當人 安久村 安久 豐造

本試驗ヲ別テ肥料試驗、種類試驗、紫雲英効能試驗ノ三トス肥料試驗ニ於テハ其成績ノ精確ナルヲ期センカ爲メ甲乙二部ニ分テ同一ノ手續キテ施シタリト雖トモ單ニ合計收量ノミヲ示シタルハ本試驗ノ爲メ遺憾トスル所ナリ肥料試驗第一區ハ普通肥ノ普通量ヲ施給シ以テ價值効驗ノ四標準トナシタルナリ即チ第一區ノ油粕第二區ノ米糠第三部ノメ粕ト比較對照スレハ油粕ハ良効ニシテ最多收穫ヲ占メメ粕之ニ次キ米糠ハ油粕ニ比シ二斗一升餘ノ減收穫トナレリ以テ本地方ハ油粕ノ經濟ニシテ安價ノ肥料タルヲ示シ米糠ノ甚タ得策ニ非ラサルヲ示セリ又第四區

ヨリ第七區迄ハ第三區ノ肥料ニ示ス重過燐酸石灰、過燐酸石灰、骨粉ノ三種ナ同代價ヲ以テ添加シ該地ニ於ケル
 燐酸肥料ノ効力如何ヲ試ミタルモノナリ而シテ其成績ノ示ス所ニ由レハ更ニ之ヲ添加スルノ必要ナキノミナラス
 之レカ爲メ却テ其收量ヲ減少スルノ傾アリ是レ頗ル疑フ可キノ点ナリトス何トナレハ此等燐酸肥料ハ或ハ土壤ノ
 状態如何ニ由リ之ヲ添加スルノ必要ヲ見サル場合ナキニアラスト雖トモ之ヲ添加シタルカ爲メ收量ヲ減殺スルカ
 如キモノニ非ラサレハナリ況ンヤ前年試験成績ニ於テ燐酸肥料ノ著キ効力アルヲ示スニ於テサヤ此等ハ宜ク再應
 ノ實驗ヲナスヲ要ス

稻作種類試験成績表

第一表

區名	項目	作付	種名	播種	播種期	移殖期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	初收量	總量	一升
第一區	四十步早杉	全	五合穗水撰	全	五月十二日	六月十九日	四九	十一月十一日	堆人油	二六、〇〇〇	二、三六〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	三、三〇〇
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	堆人米	二二、〇〇〇	二、三〇〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	堆人米	二二、〇〇〇	二、三〇〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全	堆人米	二二、〇〇〇	二、三〇〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全	堆人米	二二、〇〇〇	二、三〇〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	堆人米	二二、〇〇〇	二、三〇〇	三、三〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付	反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	總量
第一區	早	杉	全	一反	一、〇〇〇	二、一四五	二、五五六	六、〇二三	一七一、〇〇〇
第二區	全	全	全	全	一、〇〇〇	二、三三五	二、三五六	五、七六八	一六九、五〇〇
第三區	全	全	全	全	一、〇〇〇	二、四六八	二、四六八	六、〇〇〇	一七七、〇〇〇
第四區	全	全	全	全	一、〇〇〇	三、五八五	二、二五〇	五、八五〇	一八九、〇〇〇
第五區	全	全	全	全	一、〇〇〇	二、三四八	二、三四八	五、六六二	一七二、五〇〇
第六區	全	全	全	全	一、〇〇〇	二、三六三	二、三六三	五、七七五	一六九、五〇〇

種類試験ニ於テハ白玉、晚源藏、榮吾、肥後坊主ノ四種ニ就テ其適否優劣ヲ試ミタルモノナリ而シテ其成績ノ示ス
 所ニ由レハ白玉尤モ收量ノ多キヲ占メ肥後坊主之ニ次キ源藏、榮吾ノ二種ハ殆ト同一ノ收量ヲ示セリ之ヲ要ス
 ルニ種類ノ優劣ハ品質ノ善悪幹ノ強弱、成熟ノ早晚等ニ由リ判斷ス可キモノナレハ此等ノ点ニハ殊ニ注意スルヲ
 要ス

稻作種類試験成績表

區名	項目	作付	種名	量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	粉收量	澱量	初一升
第一區	二十步	白	玉	全	五月十二日	全	六月十九日	四十九	五月廿三日	油人堆肥	三、四〇〇	全	全	全	全	全
第二區	全	晚	源藏	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	榮	香	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	肥後坊主	坊主	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ナ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	澱量
第一區	白	玉	一反歩	一、〇〇〇	二、四三〇	二、一六〇	五、五五〇	一九六、〇五〇
第二區	晚	源藏	全	全	二、一六〇	四、八〇〇	一六〇、九五〇	
第三區	榮	香	全	全	二、一三〇	五、〇五〇	一九三、二〇〇	
第四區	肥後坊主	坊主	全	全	二、三七〇	四、八〇〇	一七三、二五〇	

紫雲英効能試驗ハ其成績ノ良好ナラサルコト前年試驗成績ト殆ソト同一ノ結果ヲ顯ハセリ蓋シ紫雲英ハ之ヲ多量

ニ施ストキハ徒ラニ莖葉ノ繁茂ヲ促シ被害多ク且ツ成熟ヲ遲滞セシタルノ性アリ即チ第一區ノ柴草十貫目量ニ對シ紫雲英三十貫ハ稍々多キニ過キタルカ如シ又第三區ノ木灰少量ヲ添加シタルモノニアリテハ其添加セサルモノニ比スレハ其効驗大ニ勝リ玄米三斗五升餘ノ増收量トナレリ以テ紫雲英ヲ施スニ當リ多少ノ木灰ヲ添加スルノ利益アルヲ見ル可シ

稻作紫雲英効能試驗成績表 第一表

區名	項目	作付	種名	量	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	粉收量	澱量	初一升
第一區	二十步	早	杉	全	五月十二日	全	六月廿三日	四十九	五月十一日	油人柴草	一〇、〇〇〇	二、一八〇	一、五一五	四、五七五	一六七、二五〇	
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	油人柴草	一〇、〇〇〇	二、一八〇	一、五一五	四、五七五	一六七、二五〇	
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	油人柴草	一〇、〇〇〇	二、一八〇	一、五一五	四、五七五	一六七、二五〇	

右試作結果ナ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	項目	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	粉收量	澱量
第一區	早	杉	一反歩	一、〇〇〇	二、一八〇	一、五一五	四、五七五	一六七、二五〇
第二區	全	全	全	全	二、一八〇	一、五一五	四、五七五	一六七、二五〇

第三區全	全	紫雲英 柴草 木灰	紫雲英 柴草 木灰	一、七五五	一、八六〇	五、五五〇	一六〇、〇五〇
------	---	-----------------	-----------------	-------	-------	-------	---------

備考

- 一 地形及土質 當試驗場ハ風通日當リ共ニ好シ土質ハ粘壤土ナリ
- 一 灌溉及排水ノ便否 灌溉ノ便ハ宜シケレ共排水ハ少シク不便ナリ
- 一 撰種法 水一斗ニ食鹽一貫三百目ヲ浴解シテ鹽水撰ヲ行ヘリ
- 一 浸種 五月五日ヨリ十日迄即チ五日間清キ流水ニ浸種セリ
- 一 苗代 巾四尺ニ作り肥料ハ一坪ニ付人糞一貫五百匁ステ一升七合ヲ施セリ播種後六月十二日ヨリ三日間誘蛾燒殺ヲ行フ其前後ニ數回ノ除草ヲ行ヘリ
- 一 播種法 一坪五合ノ割ヲ以テ播下セリ
- 一 移植法 繩ヲ以テ區劃ヲ正シ一坪四十九株五本ツ、播秧セリ
- 一 施肥法 前表ニアル肥料數種ヲ鋤耕シタル所ヘ一時ニ施ス
- 一 耕鋤法 麥刈取直ニ鋤耕シ施肥後鋤ニテ攪拌シ整地シテ播秧セリ
- 一 手入法 七月八日ニ中耕シ除草ハ十五日ヲ始トシテ後十日目毎ニ三回程行ヘリ
- 一 試驗中ノ氣象 本年ハ五月上旬ノ頃ヨリ七月下旬迄ハ二三度小雨アルノミニシテ非常ノ旱魃ナリシカ當場ハ幸ニ灌溉ニ便利ナルヲ以テ稻ノ發育ニ害ナシ九月十一日ニ暴風アリ爲メニ早杉ノ如キハ悉ク倒臥シ被害甚シ

又種類試驗區ハ皆晚熟ニシテ右暴風ノ際ニハ恰度開花ノ時期ナリシヲ以テ十分ノ結實ニ至ラスシテ止メリ故ニ其收量ノ如キ甚々減少セリ

一 收穫法 早稻ハ十月十一日ニ晚稻ハ二十三日ニ刈取り十日程稻木ニ乾セリ

一 品質 紫雲英功能試驗ノ第一區(柴草施)及ヒ種類試驗ノ第二區(晚源藏)ノ二種ハ上米ナリ紫雲英功能試驗第二區(即チ紫雲英施肥ノ區)ハ下米ナリ他ハ皆中米ナリシ

注意

紫雲英施肥スル第二區第三區ハ他區ヨリモ甚々シキ被害アリ又昨年此區ハ宜シカラサルヲ見ルトキハ當試驗場ニハ紫雲英ハ適當セサルカ如シ

本年ハ前ニ述ヘシカ如ク九月十一日暴風ニ害ヲ受ケシヲ以テ充分ナル結果ヲ見ルコト能ハサリシナリ

與謝郡試作場

試作擔當人 日置村 南 宇兵衛

本試驗甲ノ第一區ヨリ第六區迄ハ肥料試驗ヲ行ヒ乙ノ第一區ヨリ第五區迄ハ種類試驗ヲ行ヘリ然ルニ肥料試驗ニ於テハ其施肥用量ヲ異ニセルヲ以テ代價ニ異同ヲ來シ經濟上ニ於ケル關係ヲ判斷スルコト能ハサルハ本試驗ノ爲メ遺憾トスル所ナリ

惟フニ第一區ノ紫雲英ヲ施シタルモノニアリテハ其收量最多ヲ占メ該地ニ於ケル紫雲英ノ効能甚大ナルヲ知ル可キナリ又柴草ニ代フルニ海藻ヲ以テシタルモノニアリテハ其成績ノ甚々良効ナラサルヲ認ム是レ或ハ非常ナル早

魁ノ爲メ十分ノ効能ヲ呈セサルニ由ルナラン本試験場ノ如キ海岸ニ瀕シ海藻ノ得易キ地ニアリテハ之カ利用法ヲ
 講究スルハ農家經濟上ニ於テ特ニ必要ナリト信スルナリ其之ヲ施用スルニ當テハ十分堆積腐敗セシメテ骨肥ノ如
 キモノト併施スルヲ可トス又第五區及第六區ハ木灰及過磷酸石灰ヲ添加シ以テ此等成分ヲ特ニ添加スルノ必要ア
 リヤ否ヤヲ試ミタルモノナリ然ルニ其成績ノ示ス所ニ由レハ木灰區ハ頗ル良効ノ結果ヲ顯ハセリト雖トモ過磷酸
 石灰ニ於テハ更ニ其收量ノ増加ヲ見ザレハ之レカ爲メ收量上其有効ナリト認ムルコト能ハサルナリ

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	作付	種名	播種	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	全上價格	支米收量	初收量	糞量	初一升
第一區	二畝步	長早	州稻	澆水澆	五月十二日		六月廿七日	四三	六月廿六日	紫雲英	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	一畝步	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區	二畝步	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	項目	種名	作付	反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	早稻長州	紫雲英	一反	1000	1,260	1,795	3,600	92,500	
第二區	全	紫雲英	全	1000	2,865	1,600	3,200	88,000	
第三區	全	紫雲英	全	1000	2,730	1,780	3,600	110,000	
第四區	全	紫雲英	全	1000	2,730	1,780	3,600	110,000	
第五區	全	紫雲英	全	1000	3,525	1,090	3,200	63,000	
第六區	全	紫雲英	全	1000	3,525	1,065	3,150	67,000	

稻作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	作付	種名	播種	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	全上價格	支米收量	初收量	糞量	初一升
第一區	一畝步	大岡	澆水澆	五月十二日		六月廿八日	四三	六月廿一日	紫雲英	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	

第三區	栗田坊主	全	牛舎 糞 10,000	全	2,535	5,050	91,500
第四區	全	全	牛舎 糞 10,000	全	2,470	4,995	92,500
第五區	全	全	牛舎 糞 10,000	3,800	2,535	5,100	95,000
第六區	全	全	牛舎 糞 10,000	2,375	4,750	95,000	

(因ニ記ス巡廻教師ノ示ス所ニ由レハ第一區ヲ二分シ巾着榮吾ノ種類試驗ヲ行ヒ第二區ハ普通肥ニ栗田坊主ヲ試作シ他區ノ比較ヲ之ニ取ラント欲スルニアリキ然ルニ遂ニ前表ノ過誤ヲ來スニ至レリ)

全郡

試作擔當人 三河内村 池本庄五郎

本試驗場ハ土地平坦ナラサルヲ以テ第一區及第二區ニ分テ肥料試驗及種類試驗ヲ行ヘリ
 第一區肥料試驗ニ於テハ油粕雞糞乾魚米糠ノ經濟上何レカ得策ナリヤヲ試ミタルニアリ其成績ノ示ス所ニ由レハ雞糞尤モ有効ニシテ油粕之ニ次キ米糠亦之ニ次ク乾魚ハ尤モ劣等ニシテ頗ル高價ノ肥料タルヲ示スコト前年ノ試作成績ト殆ント同一ノ結果トナレリ又第一區ノ普通肥ニ更ニ木灰骨粉重過磷酸石灰ヲ補添シタルモノニアリテハ何レモ其收量ノ増加ヲ見ス以テ此等肥料ノ特効ナキヲ知ル可シ(前年試驗成績ニ同シ)

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	作付	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	粉收量	糞量	一升	第一區		第二區		第三區		第四區		
										甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
第一區	一畝步制	日四〇	日五〇	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	移植期	廿六日	廿六日	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	一株本數	廿六	廿六	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	收穫期	十一月廿一日	十一月廿一日	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	施肥量	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	全上價格	4,960	4,960	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	玄米收量	2,720	2,720	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	粉收量	4,440	4,440	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	糞量	1,234	1,234	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
第一區	一升	1,000	1,000	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	粉收量	糞量
第一區	甲朝日	全	全	4,960	2,720	4,440	1,234
第一區	乙全	全	全	4,960	2,720	4,440	1,234

區名	第二區		第三區		第四區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙
種名	全	全	全	全	全	全
作付反別	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	40000	40000	40000	40000	40000	40000
全上價格	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960
玄米收量	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
初收量	6,240	6,240	6,240	6,240	6,240	6,240
葉量	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000

第二區種類試驗ニ至テハ源藏最モ收量ノ多キヲ占メ愛宕一本杉之ニ次キ朝日亦之ニ亞キ福山最モ劣リ然レトモ種類ノ善惡ハ單ニ收量ノ多寡ヲ以テ其適否優劣ヲ判ス可カラス幹ノ強弱品質ノ良否成熟ノ早晚等ハ大ニ其需用ト適否ニ關係ナ有スルモノナレハ當業者ハ此等ノ点ニ就テ詳細ニ取調ヘ以テ種類試驗ノ主眼トナス可シ

稻作肥料試驗成績表 第一表

區名	第一區		第二區	
	甲	乙	甲	乙
種名	朝日	坊日	愛宕	一本杉
作付反別	全	全	全	全
一反歩當施肥量	40000	40000	40000	40000
全上價格	4,960	4,960	4,960	4,960
玄米收量	3,120	3,120	3,120	3,120
初收量	6,240	6,240	6,240	6,240
葉量	140,000	140,000	140,000	140,000

區名	第三區		第四區	
	甲	乙	甲	乙
種名	源藏	一本杉	福山	男山
作付反別	全	全	全	全
一反歩當施肥量	40000	40000	40000	40000
全上價格	4,960	4,960	4,960	4,960
玄米收量	3,120	3,120	3,120	3,120
初收量	6,240	6,240	6,240	6,240
葉量	140,000	140,000	140,000	140,000

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレバ左ノ如シ 第二表

區名	第一區		第二區		第三區	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙
種名	朝日	日置坊主	愛宕	吉	源藏	一本杉
作付反別	全	全	全	全	全	全
一反歩當施肥量	40000	40000	40000	40000	40000	40000
全上價格	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960	4,960
玄米收量	3,040	2,960	3,280	3,200	3,440	3,280
初收量	6,080	5,960	6,560	6,400	6,880	6,560
葉量	136,800	133,200	147,600	144,000	154,800	147,600

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糶量
第一區全	白	玉	10,000	3,500	2,080	4,730	1,133
第二區全	全	全	10,000	3,500	2,055	4,810	1,122
第三區全	全	全	10,000	3,500	2,270	5,030	1,260
第四區全	全	全	10,000	3,500	2,360	5,220	1,144
第五區全	全	全	10,000	3,500	2,270	5,010	1,299
第六區全	全	全	10,000	3,500	2,100	4,610	1,240

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糶量
第一區全	白	玉	10,000	3,500	2,080	4,730	1,133
第二區全	全	全	10,000	3,500	2,055	4,810	1,122
第三區全	全	全	10,000	3,500	2,270	5,030	1,260
第四區全	全	全	10,000	3,500	2,360	5,220	1,144
第五區全	全	全	10,000	3,500	2,270	5,010	1,299
第六區全	全	全	10,000	3,500	2,100	4,610	1,240

稻作種類試驗成績表 第一表

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糶量
第一區全	八重穗	全	10,000	3,500	2,080	4,730	1,133
第二區全	白玉	全	10,000	3,500	2,055	4,810	1,122
第三區全	晚源藏	全	10,000	3,500	2,270	5,030	1,260
第四區全	萬作坊主	全	10,000	3,500	2,360	5,220	1,144

右試作結果ヲ一反步ニ改算スレハ左ノ如シ 第二表

區名	種名	作付反別	一反步當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糶量
第一區全	八重穗	全	10,000	3,500	2,080	4,730	1,133
第二區全	白玉	全	10,000	3,500	2,055	4,810	1,122
第三區全	晚源藏	全	10,000	3,500	2,270	5,030	1,260
第四區全	萬作坊主	全	10,000	3,500	2,360	5,220	1,144

以上ノ結果ニ由レハ其收量ノ最多ナルハ八重穗ニシテ晚源藏之ニ次キ萬作坊主肥後坊主順次之ニ次ケリ而シテ糶量ノ最モ多キハ萬作坊主ニシテ一反步一斗五升八重穗ハ八升五合ニシテ源藏尤モ少ナシ又糶摺ノ歩合ハ八重穗四分六厘三毛源藏ハ四分五厘五毛其止リノ尤モ少キハ肥後坊主ニシテ四分四厘トス各種共斯ク分止リノ少キハ九月

十一日ノ暴風雨其原因ナラン乎
備考

- 一土質 粘土ニシテ四方ノ山遠々隔リ日陽ニシテ乾地ナリ
- 一排水 便ナリ
- 一撰種法 稻ノ成熟前五日ニ苧取撿水撰ヲ行フ即チ水三升盞一升ヲ溶解シ洗ミタルモノ、ミヲ撰ヒ種子トナセリ
- 一虫害驅除方法 六月十七八日ノ雨日午後九時頃秧田ニ灌水ヲ深クシテ細キ竹ヲ以テ苗ヲ撫テ其中ニ蟄伏スル害虫蛾ヲ追回シ松明ノ火ニテ燒殺ス
- 一苗代 五月十四日苗代作ヲナス肥料ノ施方ハ秧田五坪ニ人糞一荷(十七貫目入桶)生草四貫目木灰五合ヲ散布シ之ヲ踏込ミ高低ヲ平均シ其周圍ニ幅六七寸深サ四五寸ノ溝ヲ造ル
- 一五月十五日一日乾シ十六日ニ清水ヲ溜メ置キ一坪ニ付四合ノ割ヲ以テ四尺幅ニ播下ス
- 一六月二十一日一坪ニ三十八株本數四本ノ割ヲ以テ移植ス
- 一施肥法 本表ニ明カナリ
- 一耕鋤方法 四月十二日持立鋤ヲ以テ荒起シ同二十日打碎キヲナシ五月二十日二番耕ヲ爲ス而シテ同二十二日二番碎キヲナス六月六日三番耕ヲナス此際施肥ヲナス且ツ濃厚肥料ハ其翌日四番鋤ト共ニス
- 一手入法 七月七日一番打ヲナス同十八九ノ兩日二番打ヲナシタリ之ハ通常當地方使用ノ鋤ヲ以テナセリ又八

月八日三番除草同十日十一日ハ四番ノ留草ヲナセリ

一本年ハ春季以來ノ良氣候ニテ發育甚タ良好ナリシカ九月十二日ノ暴風雨ニテ甚シキ害ヲ蒙リシモ其後彼岸日和好ク追々回復シ收穫期ニ至リ平年ヨリ增收ト心得ラル、モ風害ノ爲メ米實ヲ損セリ價格ハ一石凡七圓五拾錢ト見込ミ肥料試驗ノ第一區ハ壹圓五拾六錢二區ハ壹圓五拾四錢壹圓三區ハ壹圓七拾錢參厘四區ハ壹圓七拾七錢五區ハ壹圓七拾錢參厘六區ハ壹圓五拾錢七厘以上中等トス

一區及六區ハ肥料ノ割合ニ少量ナルハ吾輩ノ愚考ニテハ先年彼道路開修ノ際其田土ヲ變換セシコトアリシニ由ルナラント推察セリ

種類試驗ノ第一區ハ壹圓八拾六錢第二區ハ壹圓六拾七錢參厘第三區ハ壹圓八拾壹錢五厘第四區ハ壹圓七拾九錢參厘ナリトス

熊野郡試作場

試作擔當人 海部村 岡田 久左衛門

本試驗場ハ土地ニ高低アル土質ニ異同アルヲ以テ之ヲ第三部ニ區分シ試作セリ

第一部肥料試驗第一區ヨリ第四區迄ハ紫雲英、牛舍肥、山草及米糠ノ施肥上價值効驗ヲ試ミタルモノナリ今其成績ノ示ス所ニ由レハ第一區ノ紫雲英ハ最モ廉ニシテ特効アルヲ示シ第三區ノ山草之ニ次キ牛舍肥ハ稍々劣ル所アリ又第四區ノ牛舍肥ニ米糠ヲ施用シタルモノニアリテハ第二區ニ對照シ一反歩一斗五升餘ノ增收獲アリ之ヲ前年ノ試作成績ニ徴スルニ殆ント反對ノ結果トナレリ然レトモ此等ハ氣候及土質ノ關係ヨリ斯ノ如キ成績ハ試作上免レ

サルモノナレハ尙再應ノ試験ヲ要ス

第一部稻作肥料試験成績表

第一表

區名	作付	種名	播種法	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	初收量	糞量	初一升
第一區	十二步	關取	四〇合	澆水澆	五月十九日	廿六日	四二	十月廿五日	生紫雲英	二五〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第二區	全	全	全	全	全	全	四二	全	乾魚	六〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第三區	全	全	全	全	全	全	四二	全	山草	二〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第四區	全	全	全	全	全	全	三七	全	牛舍肥	三〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付	反別	一反歩當施肥量	全上價格	玄米收量	初收量	糞量
第一區	關取	取	一〇〇	生紫雲英 一九六六	二二五〇	二五二	四七三三	一四九、一三三
第二區	全	全	全	牛舍肥 一〇〇〇〇	二〇八二	三、九二九	三、九二九	一三〇、二八六
第三區	全	全	全	乾魚 一三、四〇〇	二、二四一	四、二二八	四、二二八	一三〇、二八六
第四區	全	全	全	米 一〇、七〇〇	三、二〇四	四、一五七	四、一五七	一三三、七一四

第二部ノ第一區第二區ニハ唐箕撰ト澆水撰ノ比較試験ヲ行ヒ第三區第四區ニハ乾魚、油粕ノ優劣ヲ試シ第五、六區ニハ第四區ノ乾魚ヲ半減シ之ニ相當スル代價ヲ以テ重過磷酸石灰及骨粉ヲ施給セリ今其成績ノ示ス所ニ由レハ第一區ノ澆水撰種區ハ第一區ノ唐箕撰種區ニ比シ一反歩玄米一斗七升餘ノ增收獲トナレリ以テ撰種ノ忽ニスヘカラサルヲ知ルヘシ又乾魚區ハ油粕區ニ優ル所アリ又乾魚ノ施量ヲ減シテ重過磷酸石灰又骨粉ヲ施シタルモノニアリテハ何レモ其効ノ成績ヲ呈セリ以テ燐酸肥料ノ要用ナルヲ見ルニ足ル其成績左ノ如シ

第二部稻作肥料試験成績表

第一表

區名	作付	種名	播種法	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	玄米收量	初收量	糞量	初一升
第一區	廿一步	關取	四〇合	澆水澆	五月十九日	廿六日	四二	十月廿五日	牛舍肥	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第二區	全	全	全	澆水澆	全	全	四二	全	牛舍肥	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第三區	全	全	全	全	全	全	四二	全	牛舍肥	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第四區	全	全	全	全	全	全	三七	全	油粕	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第五區	全	全	全	全	全	全	四二	全	乾魚	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇
第六區	全	全	全	全	全	全	三九	全	骨粉	一四〇〇〇	一〇〇	三三〇	三三〇	二〇〇〇	一〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	關取	一〇〇〇	牛舍肥 100,000	二、一四三	二、〇七九	四、〇七四	一四〇、五七一
第二區	全	全	牛舍肥 131,250	全	二、二五〇	四、二五七	一四〇、五七一
第三區	全	全	牛舍肥 100,000	三、〇八六	二、三〇五	四、四九三	一四四、〇〇〇
第四區	全	全	牛舍肥 100,000	全	二、二三四	四、一五七	一四〇、五七一
第五區	全	全	油 10,000 牛舍肥 100,000	全	二、四三八	四、六〇〇	一五〇、八五七
第六區	全	全	米 100,000 魚粉 10,000	全	二、三六三	四、四五七	一四七、四二三

第三部種類試驗ノ成績ヲ見ルニ萬作坊主肥後坊主ハ其收量最モ多キヲ占メ榮吾之ニ次キ晚源藏又之ニ次ク白目ハ其收量ノ最モ少キヲ見ル然レトモ福山白目ハ其成熟期早キヲ以テ當地方ニ於テハ殊ニ注目ス可キ點ナリトス

第三部稻作種類試驗成績表

第一表

區名	項目	作付反別	種名	量	播種法	播種期	發芽期	移植期	一坪株數	收穫期	施肥	量	全上價格	支米收量	初收量	糞量	一畝重	
第一區	廿一步	榮吾	四、〇	壇水	澗	五月十九日	六月廿三日	四月三十日	三、三三〇	牛舍肥	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	榮香	一〇〇〇	牛舍肥 100,000	二、九三七	二、九八四	五、五四三	一五八、一四三
第二區	肥後坊主	全	全	全	二、九八四	五、六二九	一六一、五七一
第三區	萬作坊主	全	全	全	三、〇一七	五、八〇〇	一五六、〇〇〇
第四區	晚源藏	全	全	全	二、七五六	五、二〇〇	一五〇、八五七
第五區	福山	全	全	全	二、一五〇	四、〇五七	一三六、七一四
第六區	白目	全	全	全	一、五三〇	二、八八六	一七〇、〇〇〇

右試作結果ヲ一反歩ニ改算スレハ左ノ如シ

第二表

區名	種名	作付反別	一反歩當施肥量	全上價格	支米收量	初收量	糞量
第一區	榮香	一〇〇〇	牛舍肥 100,000	二、九三七	二、九八四	五、五四三	一五八、一四三
第二區	肥後坊主	全	全	全	二、九八四	五、六二九	一六一、五七一
第三區	萬作坊主	全	全	全	三、〇一七	五、八〇〇	一五六、〇〇〇
第四區	晚源藏	全	全	全	二、七五六	五、二〇〇	一五〇、八五七
第五區	福山	全	全	全	二、一五〇	四、〇五七	一三六、七一四
第六區	白目	全	全	全	一、五三〇	二、八八六	一七〇、〇〇〇

備考
一撰種法 ハ水一升ニ付種三升ノ割ヲ以テ種概ヲ撰擇シ七日間流水ニ浸シ置ク

一苗代床取 ハ四尺巾ニシテ施肥ハ一坪ニ付生草三貫目人糞尿四貫目灰一升トス

一播種 ハ一週間流水ニ浸シタル穀ヲ取揚ケ一日ヲ經テ少シク發芽セシトキ床一坪ニ付穀四合ヲ蒔キ付ク

一移植法 ハ播種後三十五日ヲ期トシ一坪株數四十株一株四本トス

一施肥ハ 一反歩ニ付牛舎肥二百貫目(代金壹圓貳拾錢)山草百七十一貫目(代金壹圓貳拾錢)米糠十貫五百目(代金九拾四錢五厘)乾魚七貫目(代金九拾四錢五厘)油粕十貫目(代金壹圓八拾九錢)重過磷酸石灰十貫目(代金壹圓四拾錢)骨粉十貫目(代金四拾錢)ノ割ヲ以テ移植二日前ニ施ス

一耕鋤 ハ六月二十一日耕起シ同二十三日整地ス

一手入法 ハ除草五回七月八日鋤ニテ株間ヲ打返シ同十七日打返シ同二十六日田面ヲ均ラシ除草ヲ八月八日除草ヲ同八月十日除草ス

一播種 以來氣候ハ適度ニシテ生長宜敷虫害等ナクシテ生長セシモ第三部種類試驗地第一區ヨリ第六區ニ至ル各期ノ稻ハ丈ケ長カ故ニ九月十一日ノ暴風ニテ倒レタリ就中第五區第六區ハ其害最モ多クシテ收穫大ニ減ス

一收穫 ハ十月二十一日同二十五日同三十日同三十一日稻ノ成熟ト晴天トナ量リ收穫ス

一收穫物ノ品質 各區收穫仕上ケノ品位ハ第一部第二部肥料試驗地ハ關取稻ニシテ風害ヲ蒙ラザリシ故品質宜シク第三部各區ハ風害ノ爲メ其實宜シカラスト雖トモ第二區肥後坊主第三區萬作坊主ノ二種ハ畧ホ相當ノ品位ニ列ス

二十六年各郡試作場冬作成績

本報掲載スル所ハ明治二十六年各郡試作場ニ於ケル大麥、小麥、裸麥、萊種、ノ試驗成績トス而シテ其試驗ノ項目ニ至テハ種類試驗、撰種試驗、種子適量試驗及麥奴豫防試驗ヲ以テ生眼トナスト雖トモ其方法ニ至テハ成ル可ク繁雜ヲ避ケ專ラ地方ニ適切ナル方針ヲ執リ之レカ成績ヲシテ普ク當業者ニ履行セシメントスルニアリ而シテ各郡試作場ニ於テハ尙ホ年々試驗ヲ繼續シテ其成績ノ確實ナル標準ヲ求メ漸次他ノ必要ナル試驗ニ移ラント欲ス讀者夫レ第一報夏作成績ヲ參照シテ之ヲ實際ニ應用スルコトアラハ裨益スル處蓋シ鮮少ニ非ラサルヘシ

明治廿七年十二月

愛宕郡試作場

上加茂村

擔當人

志波

長左衛門

本試作場ニ於テハ萊種作試驗ヲ行ヘリ即チ萊種苗移植ハ何本ヲ以テ尤モ適當トスルヤ又其移植期ハ早キヲ貴ンカ將ク遲キヲ可トスルヤヲ試ムルニアリ其成績表左ノ如シ

區名	地積	種名	移植期	苗木數	施肥量	全上代價	收穫期	收實量	一反歩 收實量
第一區	一畝歩	在來萊種	一月五日	四本	人糞尿 三六	三八		八五	八五
第三區	全	全	全	二本	全	全		八八	八八
第四區	全	全	全	一本	全	全		八七	八七

第五區全	全	全	全	二月二日	四本	三本	全	全	九一	九一
第六區全	全	全	全	二月二日	四本	三本	全	全	九二	九二
第七區全	全	全	全	二月二日	四本	三本	全	全	八九	八九
第八區全	全	全	全	二月二日	四本	三本	全	全	八一	八一
第九區全	全	全	全	二月二日	四本	三本	全	全	九三	九三

以上ノ試作結果ニ由レハ第一區ヨリ第五區迄ハ三本乃至二本ノ成績良ク第六區ヨリ第九區迄ハ三本乃至四本ノ成績良好ナリ而シテ一本植ヘハ稍々少ナキニ失シ四本植ヘハ多キニ失スルカ如シ故ニ早植ニハ二本ヲ用ヒ遅植ニハ三本ヲ以テセハ甚シキ失敗ヲ招クコト勿ル可シ又一月移植ノ分ハ二月移植ノ分ヨリ成績ノ良好ナラサルハ移植ノ當時早燥甚シク生育充分ナラサリニ由ル

葛野郡試作場

太秦村 擔當人 石田 喜兵衛

二種ニ就テ單ニ試作ヲ行ヘリ其成績左ノ如シ

區名	地積	種名	播種期	出穂期	收穫期	肥料ノ量	一反歩ノ方	收實量	一反歩ノ收算收量
第一區	五畝	歩在來裸		四月二十日	五月廿八日	人糞二〇〇 人尿一六〇 藥灰四〇〇	一升ノ目	三六五	一、二五〇
第二區	全	エルドラ		五月一日	六月十五日	堆肥二〇〇	一升ノ目	二七八	一、四〇〇

第一區ハ裸麥ニシテ第二區ハ小麥ナリ故ニ唯々單一ノ試作ト見テ可ナリ

乙訓郡試作場

向日町 擔當人 清水 甚右衛門

本試驗ヲ分ツテ種類試驗及ヒ撰種試驗ノ二ツトス

第一種類試驗ハ内外國種中品質善良或ハ收穫多量ノモノヲ擇ヒ之ヲ試作シテ何レカ尤モ適當ナルヤヲ判別スルニアリ其試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	量撰	種播種期	收穫期	肥料	種ノ量	實一升ノ量	收實量	一反歩ノ收算收量
乙一區	一畝	歩在來裸麥	五合	唐箕撰	十一月六日	人尿二〇〇 糞灰三六〇	九七〇〇	三七〇	一四九四	一、四九四
乙二區	全	全	全	水撰	五月廿八日		五、七〇〇	三八〇	一、二三一	一、二三一
乙三區	全	全	全	苦楮撰	六月十日		七、三〇〇	一四六九	一、四六九	一、四六九
乙四區	全	全	全	三合	全		全	一四七四	一、四七四	一、四七四

以上試作結果ニ由レハ唐箕撰種區ハ水撰種區ニ比シニ斗六升三合苦楮撰種區ニ對シニ升五合ノ增收獲アリ從來普通農家ニ於テ撰種スルハ多クハ唐箕撰ヲ用ニト雖トモ其方法タル甚ク完全ナラサルモク多シ然レトモ唐箕撰モ徐々羽車ヲ回旋シテ數回繰リ回ストキハ良實ノ種子ヲ得ルコト尠カラス

第四區ハ殊ニ第三區ニ對シ種子量ヲ異ニセリ是レ從來普通農家ニ於テ播下スル種量多キニ過クルヲ以テ一反歩五升ノ種子量ニ對シ三升ヲ以テセリ而シテ其結果三升ノ分僅カ五升ノ增收獲ニ過キスト雖トモ農家經濟上ヨリ云フ

トキハ損得ノ關係頗ル大ナルヲ以テ實業家ノ宜シク看ミル可キコトナリトス
 第二撰種試験ニ於テハ唐箕撰種、水撰種、苦楮撰種ノ三種ニ分チ種子撰擇上執レノ法ハモ善良ナルヤヲ知ラントス
 ルニアリ其試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	播種期	收穫期	肥	料	收實量	一升ノ重量	一反ノ重量	一反歩收量
甲ノ一	一畝歩	在來裸麥	四合	十一月六日	八月二日	人尿	二〇、三、六	一四九〇	三八〇九	一〇〇	一、四九〇
甲ノ二	全	上丹裸麥	全	五月八日	八月全	全	全	一二九三	三九〇六	三〇〇	一、二九三
甲ノ三	全	豐年裸麥	全	五月全	六月全	全	全	一四九七	三八〇全	全	一、四九七
甲ノ四	全	在米大麥	三合全	五月全	六月全	全	全	一三三三	三五〇六	二〇〇	一、三三三
甲ノ五	全	コルテ	全	六月全	八月全	全	全	一七四〇	二八〇七	六〇〇	一、七四〇
甲ノ六	全	エー	全	六月全	八月全	全	全	一二七二	二八〇五	五〇〇	一、二七二

以上ノ結果ニ由レハ裸麥ニ於テハ豐年尤モ優等ニシテ在來裸麥之ニ次キ上裸尤モ劣レリ然レトモ上州裸ハ成熟早ク重量ハ他ノ二種ニ優レリ

大麥ニ於テハコルテノロン收穫力モ多量ニシテ在來大麥之レニ次キコルテ尤モ劣レリ且ツ其成熟期遅クル、ナ以テ二毛作ニハ不適當ナリ然レトモ十月下旬ニ播種セハ稍々其成熟期早ムルニ至ランカ之ヲ要スルニカゴールランメルンハ粒實肥大品質善良麥酒醸造用ニ適スルヲ以テ益擴張スルノ見込アリトス

紀伊郡試作場

下鳥羽村 擔當人 竹中半兵衛

種類試験

區名	地積	種名	播種期	收穫期	收量	一反歩收量
第一區	廿三坪	上州裸			七二、	九三九
第二區	全	豐年			七五、	九七八
第三區	十八坪	コルテ			七〇、	一、一六六
第四區	全	エルドラー			四〇、	六六六

右試作ハ詳細ノ報告ナキヲ以テ其成績ノ判斷ニ苦ム所ナリ

宇治郡試作場

山科村 擔當人 田中一郎

本試験ヲ分テ撰種試験及種類試験ノ二種トス撰種試験ニ於テ唐箕撰種、水撰種及苦楮撰種ノ三法ニ分チ之ニ對スル種子適量ヲ併試セリ其試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	播種期	收穫期	收實量	一升ノ重量	一反歩收量
第一區	一畝歩	在來裸麥	唐箕撰	四合	十二月六日	二月二十日	一三〇	三四〇、
第二區	全	全	全	六合全	全	全	一六〇	三七〇、

第三區全	全	水撰	四合全	全	、一四〇	三五〇、	一、四〇
第四區全	全	全	六合全	全	、一七〇	三八〇、	一、七〇
第五區全	全	苦蘆撰	四合全	全	、一四〇	三五〇、	一、四〇
第六區全	全	全	六合全	全	、一六〇	三七〇、	一六〇

右ニ對スル一反歩當施肥量

廐肥	數	量	全	代	價	廐肥廐灰ヲ根肥トシテ播種ノ際ニ施用シ 人尿ハ補肥トシテ三回ニ施用セリ
		一六〇	全	四、四〇		
人尿		三〇				
廐肥		二〇				

以上ノ試作結果ニ由レハ四合蒔六合蒔共ニ水撰種法優等ニシテ苦蘆撰種之ニ次キ唐箕撰種(普通撰)劣リト雖トモ其收量ニ於テハ僅々ノ差アルニ過キス而シテ六合蒔ハ四合蒔ニ比シテ收穫總テ多量ナリ是レ播種ノ當時連雨ニテ土地卑濕ナルカ爲メ大ニ分蘗ヲ妨ケラレ厚蒔ノ分好結果ヲ得シナラン種量ノ如キハ氣候及播種ノ早晚等ニ關係ナ有スルモノナレハ引續キ試作シテ確實ナル成績ヲ擧ケンコトヲ要ス
種類成績左ノ如シ

區名	地積	種名	撰種	種量	施肥量	播種期	收穫期	收實量	一升ノ	一反歩
									重	收算

第一區	一畝歩	在來裸麥	唐箕撰	五合全	前表	十二月六日	十二月二十日	一五七	三七〇	一、五七
第二區	全	上州裸麥	全	全	全	全	全	、一八五	三八〇	一、八五
第三區	全	豐年	全	全	全	全	全	、一九〇	全	一、九〇
第四區	全	在來大麥	全	全	全	全	全	、二四五	全	二、四五
第五區	全	シユバリ	全	全	全	全	全	、二四〇	三〇〇	一、四〇

以上ノ試作結果ニ由レハ豐年ノ成績尤良ク上州裸麥之ニ次キ在來裸麥ハ大ニ收量ヲ減セリ又第五區ノシユバリニハ第四區ノ在來大麥ニ比シ著ク收穫ヲ減セルハ晩熟ノ結果ナラン此等ノ洋種ハ可成早ク土地ヲ耕起シ十分乾燥ナラシメテ播種スルニ非ラサレハ往々成熟ノ期ヲ遅クシ不結果ヲ來スモノナリ

久世郡試作場

富野莊村 擔當人 小森 喜平

本試驗ヲ分テ撰種試驗及種類試驗トス
撰種試驗ノ成績左ノ如シ

區名	地積	種名	撰種	種量	播種期	出穗期	收穫期	收實量	一升ノ	一反歩
									重	當收實量
第一區	一畝歩	唐箕撰	全	二合五勺	三月六日	三月六日	三月六日	一九二	三九五	八、四〇〇
第二區	全	水撰	全	全	全	全	全	、一八〇	全	八、六〇〇
第三區	全	苦蘆撰	全	全	全	全	全	、二八三	全	九、八〇〇

第四區全	全	唐箕撰	全	全	全	一、七七一	九、三六〇	一、七一
第五區全	全	水撰	全	全	全	一、七七七	九、六〇〇	一、七七
第六區全	全	苦鹽撰	全	全	全	一、七七七	九、六〇〇	一、七七

右ニ對スル一反歩當施肥量

油	量	數	全	上	代	價	施	肥	法
人		二〇、 一八〇、 二〇、				五、二〇			全量ノ三分ノ二ヲ原肥トシ三分ノ一ハ彼岸前追肥トシテ施用セリ人尿ハ風呂水ニ混合シ三回ニ施用セリ原肥トシテ播種ノ際ニ施ス
糞									
灰									

右撰種試驗甲乙二部ノ平均收量左ノ如シ

甲	唐箕撰	水撰	苦鹽撰
一、九二	一、八〇	一、八三	
乙	一、七	一、七七	一、七七
平均	一、八一五	一、七八五	一、八〇

甲乙二分チタルハ試作上誤ヲ防カン爲メナリ而シテ平均ノ試作結果ニ由レハ唐箕撰尤モ良クシテ苦鹽撰之ニ次キ水撰尤モ劣レリ

種類試驗ノ成績左ノ如シ

區名	地積	種名	一畝歩當種量	撰	種施肥量	播種期	出穂期	收穫期	收實量	一升重量	稈ノ量	一反歩當收實量
第七區	十五	豐年	二	合	水撰	全	前		〇八〇一	三九五	四、二〇〇	一、八五六
第八區	全	全	全	全	全	全			〇八五八	三九五	四、三〇〇	一、七〇六
第九區	全	全	全	全	全	全			〇八〇一	三九五	四、二〇〇	一、八五六
平均									〇八〇一	三九五	四、二〇〇	一、八五六

右平均收量左ノ如シ

甲	豐年	乙	チンコ
第七區	一、六〇一		一、八五六
第八區	一、七二六		二、〇〇〇
第九區	一、六〇一		二、〇八六
平均	一、六三九		一、九八一

久世郡試作場

宇治町

擔當人

辻

利

助

本試驗第一區第二區ハ大麥撰種試驗ヲ第三區第四區ハ西洋大麥ノ種類試驗ヲ第五區第六區ハ裸麥撰種試驗ヲ第七區第八區ハ種子量試驗ヲ第九區第十區ハ在來小麥ト西洋小麥ノ比較試驗ヲ行ヘリ其成績表左ノ如シ

區名	地積	種名	撰種法	種量(一畝歩)	播種期	出穂期	收穫期	收實量	一升ノ重量	一反歩收實量
第一區	一畝歩	在來大麥	唐箕撰	四合	十一月廿五日	四月廿五日	六月	二二七五	二七〇	二、二七五
第二區	全	全	鹽水撰	全	全	全	全	一七八五	一、七八五	一、七八五
第三區	全	コールド シヨバリ	全	三合	全	四月十五日	六月	一五四〇	三五〇	一、五四〇
第四區	全	在來裸麥	唐箕撰	四合	全	五月十七日	六月	一三八七	一、三八七	一、三八七
第五區	全	在來裸麥	唐箕撰	四合	全	五月十六日	六月	一〇一七	三九〇	一、〇一七
第六區	全	全	苦藪撰	全	全	全	全	一四八五	一、四八五	一、四八五
第七區	全	上州裸麥	全	二合	全	四月廿三日	六月	一、一三〇	三八〇	一、一三〇
第八區	全	全	全	三合	全	全	全	一四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
第九區	拾外	在來小麥	全	全	全	四月十八日	六月	〇六二〇	三八〇	一、八六〇
第十區	全	エルト ツト小麥	全	全	全	五月廿五日	六月	〇六二〇	三五〇	一、八六〇

右一反歩ニ對スル施肥價格五圓貳拾錢トス
 綴喜郡試作場
 本試作場第一部ノ第二區ヨリ第四區迄ハ種類試驗ヲ行ヘリ
 第一部成績表左ノ如シ

田邊村 擔當人 田邊 藤右衛門

區名	地積	種名	種量	撰種法	播種期	前作ノ肥料	收穫期	收實量	一升ノ重量	一反歩收實量
第二區	一畝歩	在來裸麥	四合	唐箕撰	十一月十六日	乾魚肥	四月	一〇三	三九〇	一、〇三
第三區	全	全	全	人尿ニ浸シ洗 ミタルモノ	全	乾魚肥	全	二〇二	二〇二	一、〇二
第四區	全	全	全	鹽水撰	全	燒酎肥	全	一〇〇	一〇〇	一、〇〇
第五區	全	全	全	全	全	油木肥	全	一〇〇	一〇〇	一、〇〇
第六區	全	全	全	全	全	油カリン肥	全	一〇四	一〇四	一、〇四
第七區	全	全	全	全	全	油カリン肥	全	一一〇	一一〇	一、一〇

品目	數	量	代價	價	施肥法
人糞尿		三〇〇			人糞尿ノ三分ノ二ヲ敷キ肥ヘトシ
藁		四〇	合計	六〇〇	藁ヲ上肥ニ使用ス
油粕		二三			油粕及人糞尿三分ノ一ヲ補肥トシテ施セリ

以上ノ試作結果ニ由レハ撰種試驗ニ於テ收量ニ著キ相違ナク第七區ニ於テ普通ヨリ一斗餘ノ増收ヲ得タルハ或ハ前作磷酸肥料ノ殘遺アルニ基クニアラサルナキ歟然レトモ此等ハ再應ノ試驗ヲ經サレハ確カナル判斷ヲ下スコト

能ハス
第二部ノ試作成績表左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	施肥量	收穫期	收實量	一升ノ重量	一反歩收量
第一區	廿五歩	豐年裸四合	全	鹽水撰	十一月十六日	前表六月六日	六月六日	八九、三九〇	一〇六八	九三二
第二區	全	上州裸全	全	全	全	全	六月七日	七八、全	全	一、二〇〇
第三區	全	在來裸全	全	全	全	全	六月四日	一〇〇、全	全	一、二〇〇
第四區	十五歩	シユバリエー全	全	全	全	全	全	全	全	全

備考 第四區播種ノシユバリエーハ成熟非常ニ遅シ夏作ニ差支ユレハ結實ヲ見スヲ刈リ取ルニ至レリ

相樂郡試作場

木津村 擔當人 岡田 育松

本試作場冬作ハ水田ト陸田ニ於テ種類試驗ヲ行ヘリ其試作成績左ノ如シ

區名	作地	地積	種名	撰種	播種期	收穫期	收實量	一反歩收量
第一區	水田	一畝歩	上州裸	鹽水撰	十一月廿八日	六月三日	四六、	四六
第二區	全	全	豐年裸全	全	全	六月八日	六〇、	六〇
第三區	全	全	在來裸ハホ坊主	全	全	六月六日	五五、	五五

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	收穫期	收實量	一反歩收量
第一區	陸田	十五歩	京八寸	全	十一月二十日	六月十六日	一一〇、	二、四〇
第二區	全	全	小麥	全	全	六月廿五日	一〇〇、	二、〇〇
第三區	全	全	在來大麥	全	全	六月十日	九六、	一、九五

南桑田郡試作場

吉川村 擔當人 楠 謙 吉

以上試作成績ニ就テ施肥數量等詳細ナル報告ナキヲ以テ其成績ノ是非ヲ判斷スル能ハス

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	收穫期	收實量	一升ノ重量	一反歩收量
第一區	一畝歩	在來大麥五合	全	鹽水撰	十一月二十日	六月八日	一九〇	三、八〇〇	一、九〇
第二區	全	オールラ	全	全	全	六月十一日	一九〇	三、九〇〇	一、九〇
第三區	全	セハリエ	全	全	全	六月二十日	一八五	四、五〇〇	一、八〇
第四區	全	上州裸全	全	全	全	六月八日	一三一	三、〇〇〇	一、三一
第五區	全	無芒大麥全	全	全	全	六月五日	一四三	三、〇〇〇	一、四三

右ニ對スル一反歩當施肥量

原肥	補肥	第二補	計	全上代價
2100	175	210	2100	
糞			375	
油			10	
糞			3625	

以上ノ結果ニ由レハ大麥四種ノ中ゴールランメロン及在來大麥ノ成績尤モ可ナリセハエーハ收穫ニ於テ著キ減少ナシト雖トモ晩熟ナルヲ以テ二毛作トシテハ稍々不適當ナリトス

南桑田郡試作場

馬路村 擔當人 中川 禎 輔

本試驗ヲ分テ撰種試驗及種類試驗トス

撰種試驗ハ普通撰種、唐箕撰種、苦搗撰種ノ三法ニ分テ各法ニ就テ種量ヲ二合五勺ト四合トニ分テ種子ノ適量ヲ併試シテ其試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	收穫期	收實量	一升重量	秤ノ重量	一反步當收實量
第一區	一畝步	妙心寺	二合五勺	普通撰	十一月十九日	六月十四日	134	370	3500	134
第二區	全	全	四合	全	全	全	111	360	3200	111
第五區	全	全	二合五勺	唐箕撰	全	全	104	360	2800	104

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	收穫期	收實量	一升重量	秤ノ重量	一反步當收實量
第六區	全	全	四合	全	全	全	125	360	3450	125
第七區	全	全	二合五勺	苦搗撰	全	全	110	360	2800	110
第八區	全	全	四合	全	全	全	135	365	3500	135

右ニ對スル一反步當施肥量

原肥 全上代價
 牛舍肥 2100
 人糞 75
 2163

以上ノ結果ニ由レハ二合五勺時ニ於テ普通撰ノ成績尤モ良ク苦搗撰之ニ次キ唐箕撰尤モ劣レリ四合時ニ於テハ苦搗撰尤モ良ク唐箕撰之ニ次キ普通撰尤モ劣レリ反對ノ結果ヲ顯ハセリ蓋シ種子量多寡如何ニ由リ收穫ニ影響スルノ点ハ常ニ其地方ノ氣候ニ伴フモノナレハ連年連行其成績如何ヲ確ムルヲ要ス
 種類試驗ノ成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	撰種法	播種期	收穫期	施肥料	收實量	一升ノ重量	秤ノ重量	一反步當收實量
第九區	全	十五步上州裸二合五勺	全	苦搗撰	十一月十九日	六月十四日	全	90	370	2600	180
	全	妙心寺	全	全	全	全	全	66	375	2150	132
第十區	全	無芒	全	全	全	全	全	84	290	1800	168

全 1セバリエ全 全 全 全 全 全 〇六四 三〇五、二、六〇〇 一、二八

右成績ニヨレハ上州裸ハ在來裸妙心寺ニ比シ一反歩ニ付實ニ四斗八升ノ增收ヲ得タリ彼是收量ノ懸隔何ッ夫レ甚シキヤ須ク刮目シテ可ナリ

以上試験ノ外ニ第三區及第四區ニハ紫雲英ナ一反歩ニ散シ二合五勺宛九月廿七日ニ播種シ五月十八日ニ刈取り其生實量ヲ秤リシニ第二區ハ百〇五貫第四區百十貫目ヲ穫タリ普通作ニ比スレハ稍々優等ナリトス

北桑田郡試作場

弓削村 擔當人 牧 宇之助

本試験ヲ別テ種疊試験及種類試験トス其試作成績表左ノ如シ

區別	地積	種名	種量	播種法	播種期	收穫期	收實量	一反歩收量
第二區	一畝歩	麥	六	合鹽水撰	十一月十六日	六月十五日	一〇〇	一、〇〇
第三區	全	全	五	合全	全	全	八五	〇、八五
第四區	全	全	六	合全	全	全	一〇〇	一、〇〇
第五區	全	全	五	合全	全	全	九二	〇、九二
第六區	全	上州裸	四合五勺	全	十一月一日	全	二二〇	二、二〇
第七區	全	セノバリ	全	全	全	全	一〇〇	一、〇〇
第八區	全	無芒	全	全	全	全	一〇〇	一、〇〇
第九區	全	在來大麥	全	全	全	全	二、一〇	二、一〇

右ニ對スル一反歩當施肥量

肥料	數	量	全代價	施肥法
牛舍肥	二〇〇	全	全	播種ノ際水肥ヲ肌肥トシ牛舍肥ヲ第一回補肥トシ十一月廿六日ニ施シ鶏糞糞混合シタルモノヲ第二回補肥トシ十二月十日ニ施シ更ニ水肥ヲ第三回補肥トシ三月十五日ニ施ス
鷄糞	一四、四	全	五、〇六	
蠶糞	一〇	全		
水肥	一〇〇〇	全		

附第二區ニハ紫雲英ヲ播下セリ

備考 播種ノ當時降雨連日ニ亘リ爲メニ播種期ヲ遅クシ發芽甚々悪ク肥料ノ効驗薄ク爲メニ十分ノ成績ヲ擧グルコト能ハサリキ殊ニ本郡ノ如キ氣候濕冷ナル地方ニアリテ可成的畦床ヲ高ク造リ排水ヲ十分ナラシメ早播種ヲ行ハサレハ二毛作ノ成績ヲ見ルコト困難ナリトス

船井郡試作場

園部村 擔當人 田中耕之助

區名	地積	種名	一反歩當種量	總水撰	播種期	出穂期	收穫期	收實量	一反歩當收量
第二區	二畝歩	在來大麥	五升五合	全	十二月二十日	五月十五日	六月十二日	一七六	二五〇
								八〇〇	三〇、二〇〇

(論者曰ク藁灰ノ如キハ堆肥ト切り交セ施スカ或ハ播種後覆肥トナス可トス)
 以上ノ結果ニ由レハ前作肥料ハ悉ク稻ニ攝收セラレテ殆ソト遺殘ナキヲ知ル可シ何ソトナレハ骨粉(第五區ニ施ス)ノ如キ往々後作ニ殘ルモノナレトモ第一區ノ米糠第二區ノ油粕ヲ施セルモノト其收量ニ於テ甚シキ徑庭ナケレハナリ又第四區ノ過燐酸石灰ヲ施シタル區ニ於テ甚ク收量ヲ減セルハ頗ル不審ニ屬ス何トナレハ過燐酸石灰ハ土壤ノ状態ニ由リ著ク効能ヲ呈セサルコトアルモ有害作用ヲ殘スカ如キハ其性質ノモノニアラサレハナリ
 種類試驗ノ試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	播種期	收穫期	施肥量	收實量	一升ノ重	一升ノ稈	一反歩收算實收量
第一區	十步	京六角大麥	一畝歩當五合	十一月六日	六月十二日	前表	〇一二六	二八五	二六五	三七八
第二區	全	無芒全	全	全	六月九日	全	〇一二二	二七五	二七〇	三六三
第三區	全	モロシ全	全	全	六月十七日	全	〇一〇一	三一〇	二八〇	三〇三
第四區	全	セバリ全	全	全	六月廿二日	全	〇〇八一	二九〇	二五〇	二五五
第五區	全	鬼裸全	全	全	六月十六日	全	〇〇九四	三七五	全	二八二
第六區	全	上州裸全	全	全	六月十二日	全	〇〇四二	全	一二〇	一二六

以上ノ結果ニ由レハ京六角ノ成績尤モ善良ナリト雖トモ一反歩ノ收量僅カ三斗七升餘ニ過キス斯ク不結果ナル所
 以ハ排水ノ極テ不便ナルト埴土質ナルカ爲メ水分常ニ停滯シ濕冷甚シキニ由ル故ニ排水渠ヲ設ケ畦床ヲ高クスル

ニ非ラサレハ二毛作ニ適セサルナリ

天田郡試作場

督我井村 擔當人 小林 金之助

本試驗ヲ分テ撰種試驗、種子量試驗、種類試驗ノ三ツトス
 撰種試驗ハ唐箕撰種ト苦鹽撰種ノ二種ニシテ各一畝歩ニ付六合宛播下シ以テ其比較ヲ試メリ種量試驗ハ何レモ苦鹽撰種ヲ行ヒ六合五合四合三合ノ四區トシ以テ幾何ノ種量カ尤モ適當ナルヤヲ試ミタリ其試作成績左ノ如シ

區名	地積	種名	撰種法	種量	播種期	收穫期	稿稈ノ量	收實量	一升ノ重	一反歩收算實收量
第一區	一畝歩	鬼裸	唐箕撰六	合六	十一月六日	六月四日	八、二〇〇	一八〇	三六〇	一、八〇
第二區	全	全	苦鹽撰六	合全	全	全	七、六八〇	一六六	三六八	一、六六
第三區	全	全	全	合全	全	全	八、三〇〇	一八〇	三七〇	一、八〇
第四區	全	全	全	合全	全	全	八、〇〇〇	一七六	三五〇	一、七六
第五區	全	全	全	合全	全	全	八、三〇〇	一七五	三六〇	一、七五
第六區	全	全	唐箕撰六	合全	全	全	七、六〇〇	一五二	三七〇	一、五二
第七區	全	全	全	合全	全	全	七、四〇〇	一四三	三六五	一、四三
第八區	全	全	苦鹽撰三	合全	全	全	七、四〇〇	一四三	三六五	一、四三

右ニ對スル一反歩當施肥量

原	肥	補	肥	合	計	全	上	代	價
人	糞	一五〇、	一五〇、	三〇〇、	二、三七				
堆	肥	五〇、	五〇、	一〇〇、					

以上ノ結果ニ由レハ第一區ノ唐箕撰種ハ第二區ノ苦鹽種ニ比シ一斗四升(一反步當)ノ增收ニ當リ而シテ第五區ノ苦鹽撰種ハ第七區ノ唐箕撰種ニ比シ反對ノ結果乃チ二升四斗ノ增收ニ當レリ是等ハ尙ホ再應ノ試験ヲ經サレハ是非ノ判断ヲ下スコト能ハサルヲ以テ逐次之ヲ行ヒ其結果ヲ確メント欲ス種量試験ニ於テハ第四區ノ五合區尤モ優等ニシテ第五區ノ四合區之ニ次キ第二區ノ六合區亦之ニ次キ第八區ノ三合區ハ著ク收量ヲ減セリ夫レ種量ハ地方ノ氣候播種ノ早晚ニ由リ多少ノ差異アルハ勿論ナリト雖トモ種子ヲ多量ニ播下スルハ普通農家ノ弊ナリトス此等ハ宜ク試作結果ニ鑑ミ斟酌スルヲ可トス

備考 第三區ハ紫雲英ヲ播下セリ

種類試験ハ各種ニ就テ成熟ノ早晚品質ノ善惡及收穫如何ヲ試ミタリ

區名	地積	種名	種量	播種期	收穫期	稿稈ノ量	收實量	一升ノ重	一反步收量
第一區	十五步	大麥 セハリエー	二合五勺	十一月六日	六月二十日	六、三〇〇	一〇七	三〇〇、	二、一四
第二區	全	上州裸麥	全	六月四日	六月八日	六、八〇〇	〇七二	三七〇、	一、二四
第三區	全	無芒大麥	全	五月廿三日	七月七日	七、二〇〇	一一〇	二九〇、	二、二〇

第四區	全	在來大麥	全	四月六日	七月五日	七、五二〇	一一五	二八七、	二、三四
-----	---	------	---	------	------	-------	-----	------	------

右ニ對スル一反步當施肥量

原	肥	補	肥	計	全	上	代	價
人	糞	一五〇、	一五〇、	三〇〇				
堆	肥	二五、	二五、	五〇				二、四三七
木	灰	一四、		一四				

前表成績ニ由リ各種類收量ノ多寡如何ヲ明ニセリ而シテ各種ノ性質概要ヲ擧ケレハ第一區ノセハリエーハ品質佳良光澤十分ナリト雖トモ成熟期ヲ遅クル、ヲ以テ播種期ヲ早メサレハ實際跡作ニ差支ユルノ憾アリ第二區ノ上州裸麥ハ小粒ナレトモ品質善良稈ノ丈ケ短ク且ツ丈夫ナリトス第三區ノ無芒大麥ハ品位極テ佳良稈ノ丈ケ長クシテ成熟早ク且ツ摘ヘリ第四區ノ在來大麥ハ品位稍々劣ルト雖トモ收穫ニ於テハ尤モ多量ナリトス

加佐郡試作場

安久村 擔當人 安久 豊造

本試験ヲ別テ撰種試験及種類試験ノ二種トス撰種試験ニハ種子ノ適量試験ヲ添加セリ其成績表左ノ如シ

項區	地名	種名	撰種法	種量	播種期	出穂期	收穫期	收實量	一升ノ重	稈ノ量	一反步收量
第一區	甲廿七步 乙二十步	八穂稈普通撰六	合	十月四日	六月六日	二七九	三六三、	九、六七〇	一、七八二		

第二區全	全	苦楮撰六	合全	全	全	、二四七、三五八	八、三四〇	一、五七六
第三區全	全	全、四	合全	全	全	、二三七全	八、四二〇	一、五一二
第四區全	全	普通撰三	合全	全	全	、二一六全	八、一六〇	一、三七八
第五區全	全	苦楮撰全	全	全	全	、二〇六三六〇、	七、一四〇	一、二八二
第六區全	全	全	全	全	全	、二〇四全	八、一六〇	一、三〇二

右ニ對スル一反歩施肥量

堆肥	一五〇	全上計代價	施肥法
乾魚	一〇、		
藥灰	五、		
人糞尿	八二〇		
			堆肥、乾魚、藥灰ノ三種ヲ能ク混合シ播種後直ニ上肥トシテ施用セリ人糞ハ播種ノ當日ヨリ四月十四日迄都合六回ニ分施セリ

以上試作結果ニ由レハ普通撰種即チ唐箕撰種法ハ苦楮撰種法ニ優ルコト二年餘ニ及フト雖トモ此ヲ以テ直チニ普通撰種ノ苦楮撰種ヨリ優効ナリト速斷ス可カラス何トナレハ此等ハ土地ノ狀態及肥料ノ分解ノ遲速等ニ由リ往々以上ノ如キ結果ヲ生ズルモノナレハナリ故ニ引續キ試作シテ之レカ平均標準ヲ求ムルヲ要ス種子量ニ於テ六升三升ト

其種量ヲ減スルニ從テ收量ヲ減スルニ至レリ是レ本試驗田ニ於テ排水不便ニシテ土質常ニ過濕ナルカ爲メ分蘗ノ數少キニ由ルナラン然レトモ六升區ハ稍々多キニ過ク五升ノ下種量尤モ適當ナラン乎
種類試驗成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	撰種	播種期	出穗期	收穫期	收實量	一升ノ稈ノ量	一反歩收算	
第一區	廿四步	在來大麥四	合楮水撰	十	四月八日	五月八日	六月八日	、一五一	三三〇、	六、七三〇	一、八八七
第二區	全	無芒全	全	全	四月十五日	五月一日	五月一日	、一三三	三三五、	五、三八〇	一、六六二
第三區	全	エーニバリ全	全	全	五月六日	五月十二日	五月十二日	、一三〇	三四〇	六、六〇〇	一、六二五

右表ニ由リ各種ノ收量ナ明ニセリ而シテ品質ニ於テハエーニバリエーハ粒實肥大ニシテ色白ク味ヒ甚々佳良ナリコ
ールランノロン之ニ次キ在來大麥ハ品質味ヒ共ニ普通トス

附 紫雲英ハ九月十八日二畝歩ニ播下シ十月下旬ヨリ防寒ノ爲メ藁覆ヲナシ五月廿八日刈リ收量ハ十六貫四百目ヲ得タリ

與謝郡試作場

城東村 擔當人 和泉 徳兵衛

本試驗ハ撰種試驗、種量試驗、麥奴豫防試驗ノ三トス其成績左ノ如シ

區名	地積	種名	種量	撰種法	播種期	收穫期	收實量	一反歩收算
第一區	二畝歩	在來裸麥	六	唐箕撰	十一月六日	六月七日	、三七	一、八五

第二區全	全	六合	鹽水撰全	全	三六	一、八〇
第三區全	全	五合	唐箕撰全	全	三六	一、八〇
第四區全	全	五合	鹽水撰全	全	三七	一、八五
第五區全	全	四合	全	全	三六	一、八〇
第六區全	全	六合	灰汁浸全	全	三八	一、九〇

右ニ對スル一反歩當施肥量

人糞	木灰	牛舎肥	數	量	全上代價	施肥法
四五〇	一、七五	二五〇	計	二、七五		牛舎肥及木灰ヲ原肥トシテ播種ノ際ニ施シ人糞ハ一部敷肥トシテ施シ他ハ十二月十五日二月十日三月廿日四月廿二日都合四回補肥トシテ施セリ

以上ノ試作結果ニ由レハ厚蒔ニ於テハ唐箕撰ハ鹽水撰ニ優リ(第一區第二區)蒔蒔ニ於テハ鹽水撰唐箕撰ニ優レリ故ニ精撰ノ種子ナレハ稍々薄キヲ可トス(第三區第四區)種量ハ五合蒔ノ成績尤モ良クシテ四合ハ稍々薄キニ六合ハ稍々厚キニ失スルカ如シ(第二區第四區第五區)第六區ノ麥奴豫防區ハ無豫防區ニ比スレハ麥奴ノ數甚々少キヲ以テ其利益ノ少小ニ非ラサルヲ知ル可シ

與謝郡試作場

日置村 擔當人 南 宇兵衛

種類試驗左ノ如シ

區名	地積	種名	播種期	施肥量	出穂期	收穫期	種ノ量	一升ノ重量	一反歩改算收量
第一區	一畝歩上州裸	シユコハリ	全	木灰 二、七五 人糞 一、八〇	四月六日	五月八日	一、一八	四〇五	一、一八〇
第二區	全	エー	全	全	五月十三日	六月二十日	一九九	七、三〇〇	三一五、一九九〇
第三區	全	無芒	全	全	四月六日	五月八日	一、四九	四、一〇〇	二九五、一、四九〇
第四區	全	コールデ ソメロン	全	全	五月十三日	六月十三日	一、七二	六、三〇〇	三二〇、一、七二〇
第五區	全	坊主	全	全	四月八日	五月八日	一、七一	四、二〇〇	二七五、一、七一〇
第六區	八畝歩在來裸	在來裸	全	全	六月八日	八月全	一、二四〇	一、	三八〇、一、五五〇

本試作場ノ結果ニ由レハ收量ノ賤ニ於テシユコハリエー成績尤モ善クコールデソメロン之ニ次キ坊主無芒ト順次之ニ次ケリ裸麥ニ於テハ上州裸ヨリ在來ノ裸好結果ヲ呈セリ
夫レ各郡試作場ハ八九分迄ハシユコハリエーノ晩熟ニシテ適當ノ種類ニアラサルヲ示セリ然ルニ本試作場ニ於テ成熟期ニ多少遅クル、所アルモ品質及收量ニ於テ善良ノ結果ヲ得タルハ本場地方ノ砂質ニシテ排水能ク土地能ク乾燥シタル結果ナラン故ニ本種ニシテ漸次氣候ニ慣ル、ニ至ラハ本場地方ニ於テハ或ハ望アル種類ト謂フ可キナリ

與謝郡試作場

三河内村 擔當人 池本庄五郎

本試作場ヲ別テ第一部及第二部トス第一部ニハ普通試驗ヲ行ヒ前作肥料ノ關係ヲ試ニ第二部ニハ種類試驗ヲ行ヒ其優劣ヲ判斷スルニアリ其試作成績表左ノ如シ

第一部

區名	地積	種名	播種期	收穫期	施肥量	全上代價	收實量	一升ノ重	一升ノ量	一反歩收量
第一區	一畝步	紫雲英	十一月十一日	六月十一日	油合肥 一五斤 糞 四〇、四	一三〇、七	—	—	五八〇〇〇	五八〇、〇
第二區	全	六角大麥	十一月六日	六月六日	—	—	七二	三四〇	二、二二〇	七二
第三區	全	全	全	全	全	全	六八全	全	二、一〇八	六八
第四區	全	全	全	全	全	全	六八全	全	—	六八
第五區	全	全	全	全	全	全	六〇全	全	一、八五〇	六〇
第六區	全	全	全	全	全	全	六四全	全	一、九八四	六四
第七區	全	全	全	全	全	全	六四全	全	—	六四
第八區	全	全	全	全	全	全	六八全	全	二、一〇八	六八

第二部

區名	地積	種名	播種期	收穫期	施肥量	全上代價	收實量	一升ノ重	一升ノ量	一反歩收量
第一區	一畝步	六角大麥	十一月十三日	六月五日	前全表	前全表	六四	三四〇	二、一〇八	六四
第二區	全	無芒	全	六月十八日	全	全	七二	三二〇	二、二三二	七二
第三區	全	シヨバリ	全	全	全	全	六四全	全	一、九八四	六四
第四區	全	上州裸	全	全	全	全	七六全	全	二、三五七	七六
第五區	全	六角大麥	全	五月六日	全	全	六八	三四〇	二、一〇八	六八
第六區	全	全	全	全	全	全	六〇全	全	一、八六〇	六〇
第七區	全	全	全	全	全	全	六〇全	全	—	六〇
第八區	全	全	全	全	全	全	六四全	全	一、九八四	六四

以上試作結果ニ由レハ各區共收量ニ於テ著キ相違ナキカ如シ然レトモ備考ノ部ニ於テ洋種ノ如キハ殆ント成熟セストアリ而シテ在來ノ大麥ト其收量ノ甚タ減少セルハ播種ノ當時霖雨連日ニ亘リ下種期節ヲ失シタルニ由ル

中郡試作場

口大野村 擔當人 小牧新七

種類試驗成績表

區名	地積	種名	種量	播種期	收穫期	收實量	一升ノ重	一反歩收量
第一區	全	全	全	全	全	全	全	全
第二區	全	全	全	全	全	全	全	全
第三區	全	全	全	全	全	全	全	全
第四區	全	全	全	全	全	全	全	全
第五區	全	全	全	全	全	全	全	全
第六區	全	全	全	全	全	全	全	全
第七區	全	全	全	全	全	全	全	全
第八區	全	全	全	全	全	全	全	全

右一反歩當施肥量

區名	地積	種名	種量	播種期	一歩當施肥量	全上代價	收穫期	收穫量	一反歩當
第一區	一畝廿三步	在來裸麥	三合五勺	五月廿九日	二四〇二六	廿九日	三三五	三九〇	一八九
第二區	一畝廿四步	坊主大麥	全	五月廿九日	二四〇二六	全	三八五	三二〇	二二三
第三區	全	ソルロン	全	五月廿九日	二四〇二六	全	四八五	三四五	三七〇
第四區	一畝廿六步	在來大麥	全	五月廿九日	二四〇二六	全	一、一五五	三三二	六一九

備考 播種ノ當時霖雨打續キ土質乾燥セサル際ニ播種セシ爲メ發芽甚タ悪ク肥料ノ効能薄ク爲メニ甚タ收穫ヲ減スルニ至レリ

竹野郡試作場

淺茂川村 擔當人 吉田 仁左衛門

區名	地積	種名	種量	播種期	一歩當施肥量	全上代價	收穫期	收穫量	一反歩當
甲	五畝歩在來大麥六	升	廿九日	五月廿九日	二四〇二六	一、一五五	三三二	六一九	一、三〇〇

乙

全

六角シユ全

全

全

全

全

、五〇

一、〇〇

熊野郡試作場

海部村 擔當人 岡田 久左衛門

本試作場ヲ第一部(六區)第二部(六區)第三部(四區)ニ分テ各部共種類試驗ヲ行ヒ在來種ト洋種ノ對照比較ヲナセリ其成績表左ノ如シ

第一部

區名	地積	種名	播種期	出穂期	收穫期	秤ノ重量	一升ノ重量	收穫量	一反歩當
第一區	廿四步	谷風	五月廿九日	八月十五日	十月十日	二、七〇〇	二八〇	五二、	七五〇
第二區	全	一反六合	五月廿九日	五月廿九日	六月二日	三、〇八〇	二九〇	五四、	七二五
第三區	全	無芒	五月廿九日	五月廿九日	六月一日	二、四九〇	二八〇	四三、	五三八
第四區	全	シユバリエ	五月廿九日	五月廿九日	六月五日	三、八八〇	二五五	四八、	六〇〇
第五區	全	五畝四石	五月廿九日	五月廿九日	六月三日	三、〇七〇	二五〇	五三、	六六三
第六區	全	長芒	五月廿九日	五月廿九日	六月三日	二、四九〇	二四五	四一、	五一三

第二部

區名	地積	種名	播種期	出穂期	收穫期	秤ノ重量	一升ノ重量	收穫量	一反歩當
第一區	廿四步	谷風	五月廿九日	八月十五日	十月十日	二、七〇〇	二八〇	五二、	七五〇

第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區
廿一步	全	全	全	全	全
加佐坊主	加佐坊主	加佐坊主	加佐坊主	加佐坊主	加佐坊主
五月十日	五月十日	五月十日	五月十日	五月十日	五月十日
六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日	六月十一日
三、六三〇	三、三三〇	三、〇六〇	三、二三〇	二、七八〇	二、七七〇
二五〇	二七五	二六〇	二八五	三六〇	二六五
五五	五二	五一	五三	四八	四七
七八六	七四三	七二九	七五七	六八六	六七一

第三部

區名	地積	種名	播種期	出穂期	收穫期	秤ノ重量	一升ノ重量	收實量	一反歩收實量
第一區	一畝	紫雲英			五月十一日	二七			一九二、八六〇
第二區	全	上州裸		五月一日	六月二日	八、五二〇	三六〇	一二四	八八六
第三區	全	京女郎		五月三日	六月五日	三、九〇〇	三四〇	六五	四六四
第四區	全	程好		全	全	三、九七〇	三三八	六三	四五〇

右ニ對スル一反歩當施肥量

數	量	代	價	施	肥	法
---	---	---	---	---	---	---

牛舍肥	一、二〇	三、〇〇	牛舍肥、藁灰ヲ原肥トシ播種ノ際ニ施用セリ 人糞尿ハ補肥トシテ五回ニ分施セリ
藁灰	四〇		
人糞尿	七〇		

前表試驗結果ニ由レハ第二部第一區ノケーア種收量尤モ多ク全第四區ノコールデンメロン之ニ次キ第一區第一區ノ谷風之ニ次ケリ本試驗ハ概シテ西洋種優等ヲ占メ且ツ收穫期ニ於テモコールデンメロン及シユバリエー二種ハ在來種ニ遅クルコト僅カニ三日ニ過キサレハ當地方ニ於テハ頗ル望アル種類ト謂ハサル可カラス

備考 本試驗場ハ粘土質ニシテ排水甚タ惡ク加ルニ降雨打續キ土地濕潤ナルノ際播種セシ爲メ發芽甚タ惡ク生長宜シカラス故ニ收穫著ク劣レリ

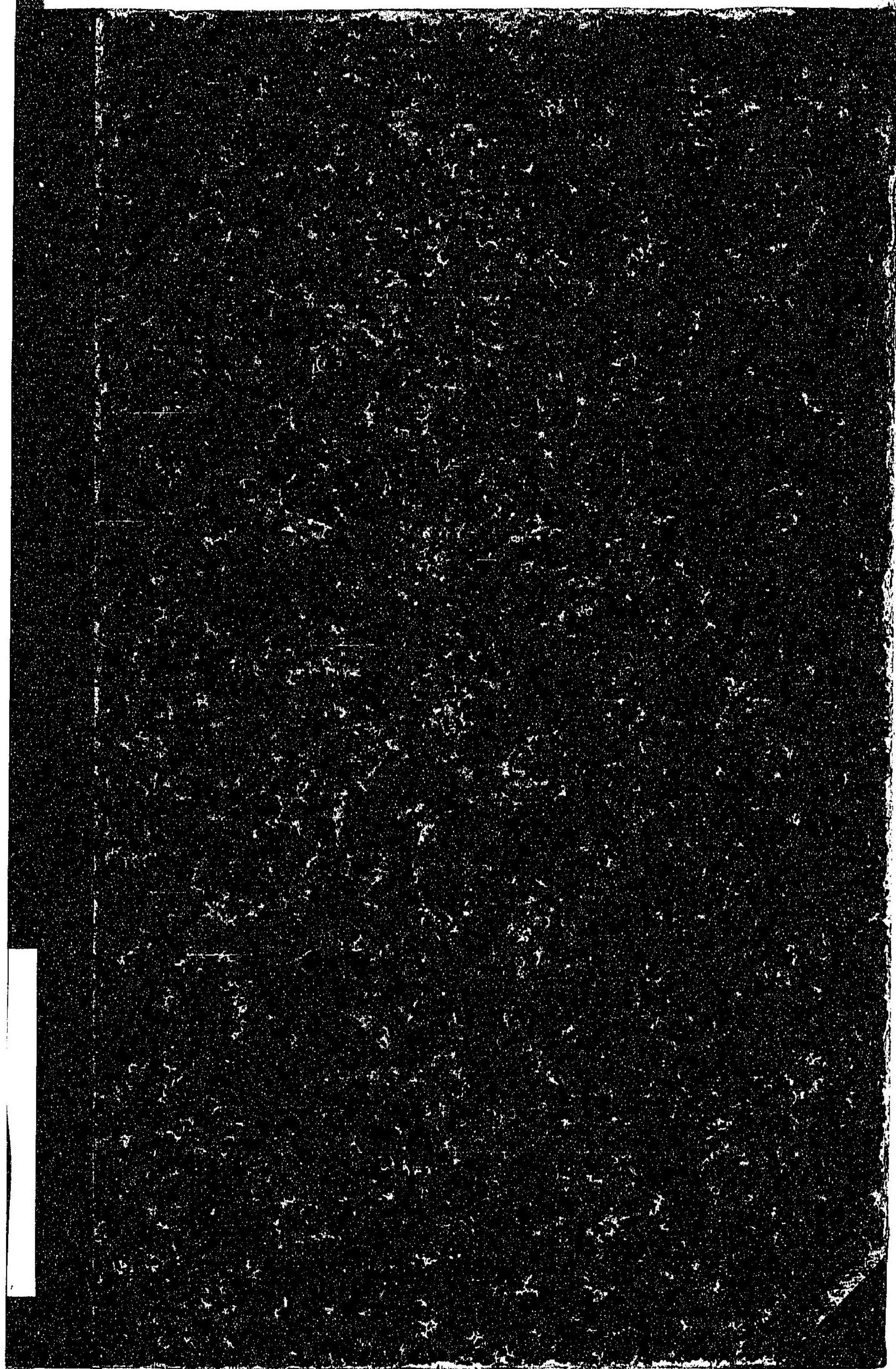
明治二十八年七月五日印刷
同年同月十日發行

京都府内務部

京都市上京區下立賣通小川東入
西大路附十番戶
印刷所 中西嘉助

40
196

196



40

196

061674-001-5

40-196

京都府各郡農事試作場成績

京都府内務部

M28, 29

CCA-0308



